製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：	0586-25-6170 （電話のおかけ間違いにご注意ください）
受付時間：	月〜金曜日　午前 9 時〜午後 8 時 土、日、祝日　午前 9 時〜午後 5 時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。

http://www.sony.net/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
はんだ付けに無鉛はんだを使用
キャビネットにハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材に段ボールを使用
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.
Lead-free solder is used for soldering.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets.
Corrugated cardboard is used for the packaging cushions.

Sony Corporation Printed in Japan　　ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

SONY

2-592-760-**03** (1)

Data Projector

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と別冊の「安全のために」および付属の CD-ROM に入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-PX41

この説明書について

この説明書では、本機を接続してから映すまでの簡単な操作方法を説明しています。
また使用上のご注意やメンテナンスの際に必要な情報が記載されています。
操作方法について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書をご覧ください。
また安全のための注意事項は、別冊の「安全のために」をご覧ください。

CD-ROM取扱説明書の見かた

付属のCD-ROMには、ReadMe、取扱説明書および設置説明明書が収録されています(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語)。まず最初にReadMeをご覧ください。

準備

付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader5.0以降が必要です。
Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。(無料)

取扱説明書を読むには

付属のCD-ROMを、コンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROMが自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROMの中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROMが自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

(Windowsの場合)

① 「マイコンピュータ」を開く。
② 「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

(Macintoshの場合)

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
② 「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htmファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- MacintoshはApple Computer Inc.の米国及びその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国及び各国での登録商標です。

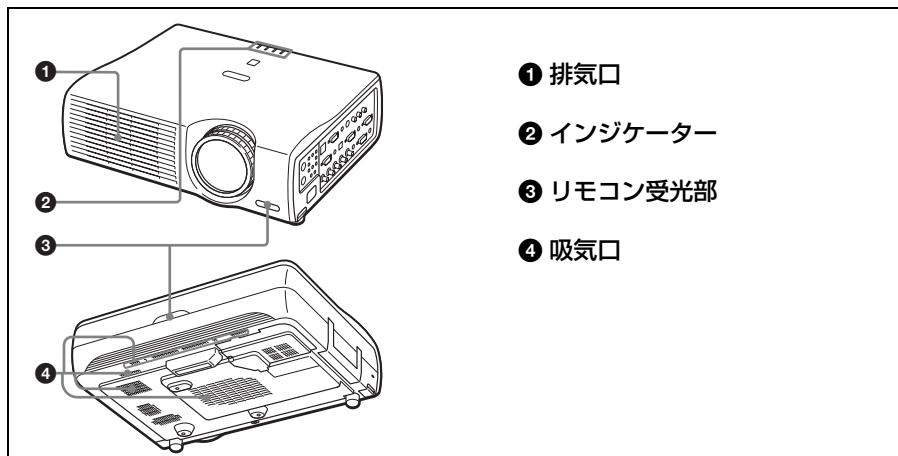
目次

JP

使用上のご注意

吸気・排気口についてのご注意

吸気・排気口をふさがないでください。吸気・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。以下イラストにて吸気・排気口の位置をご確認ください。

❶ 排気口
❷ インジケーター
❸ リモコン受光部
❹ 吸気口

電源接続時のご注意

それぞれの地域にあった電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	–[1]	YP332
コネクタ型名	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
コード型名	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安
コード長さ（最長）	4.5m		–			

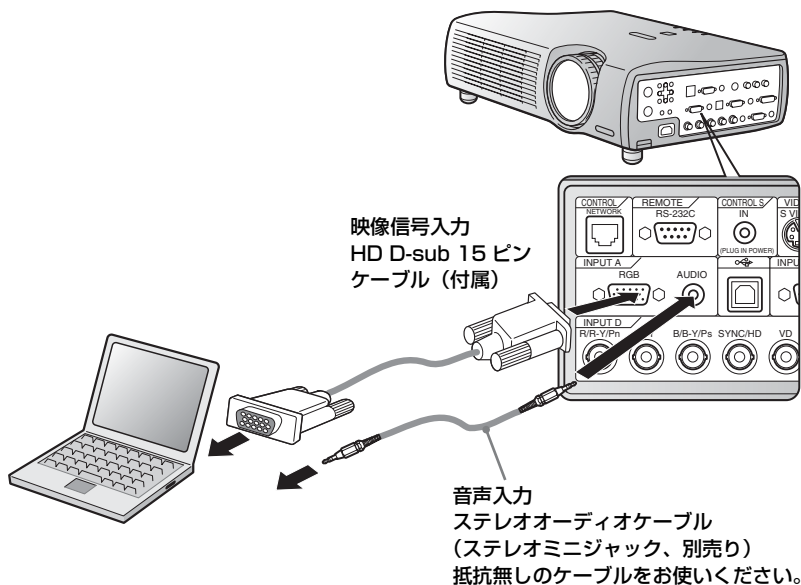
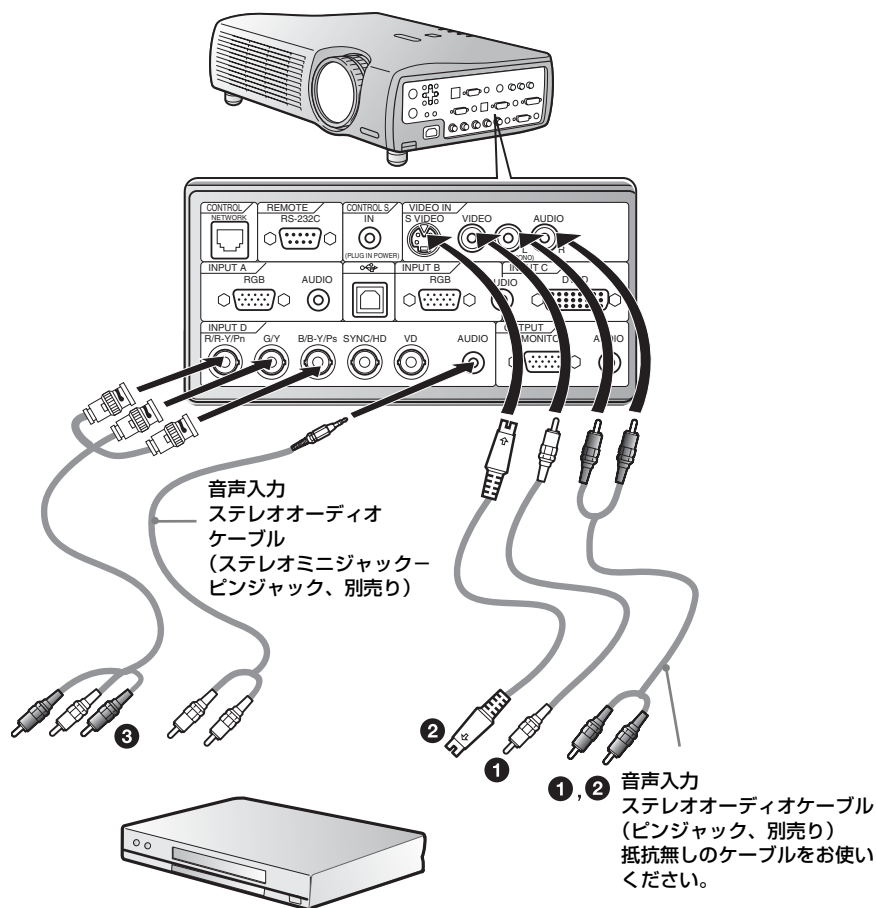
1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

画像を映す

接続する

接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ・ＤＶＤ 機器との接続

映像信号入力には以下の３通りの方法があります。

❶ コンポジットビデオ（ピンジャック）ケーブル（別売り）

❷ S ビデオ（MiniDIN4-pin）ケーブル（別売り）

❸ コンポーネント（BNC × 3）ケーブル（別売り）
（抵抗無しのケーブルをご使用ください。）

❸ で接続した場合、メニューで「入力 D 信号種別」の設定が必要です。
詳しくは CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

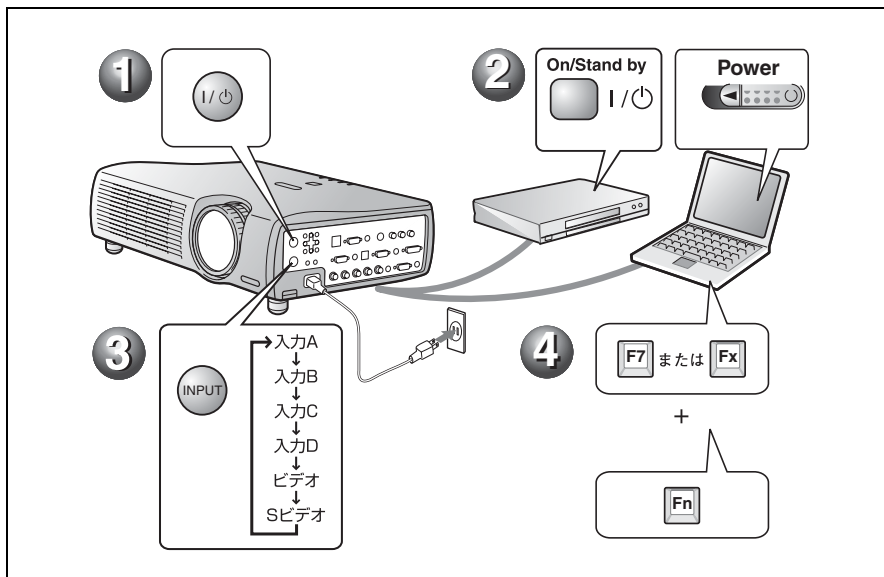
映す

各機器の接続をする前に電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をしてください。

❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

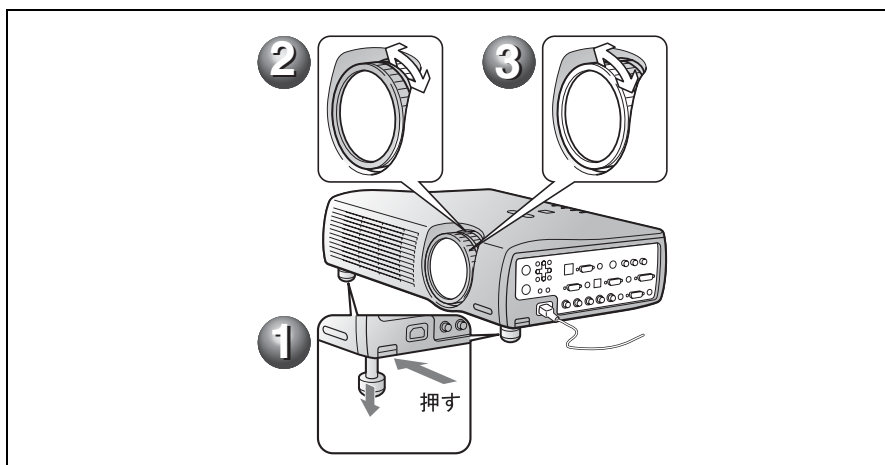
❸ INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

❹ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。

調整する

❶ **プロジェクターを持ち上げ、アジャスター調整ボタンを押す。**

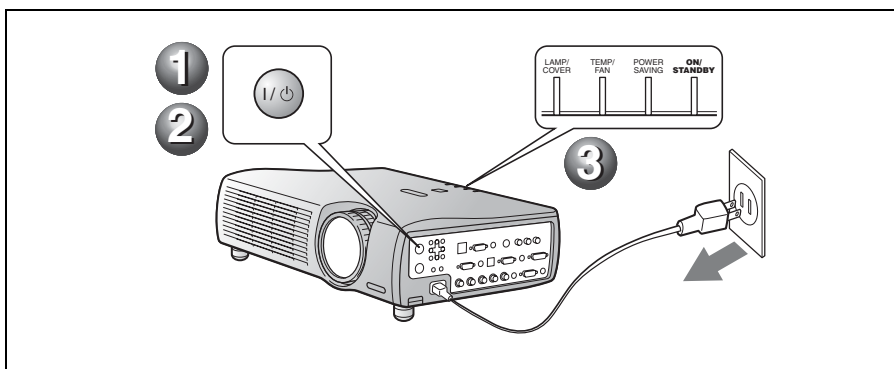
❷ **画像の大きさを調整する。**

❸ **画像のフォーカスを調整する。**

画質モードを選べる画質設定メニューや、最適な画面のアスペクト比（縦横比）を選べる信号設定メニューがあります。詳しくは CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

電源を切る

❶ **I/⏻(オン / スタンバイ）キーを押す。**

❷ **メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻(オン / スタンバイ）キーを押す。**

❸ **ファンが止まり、オン / スタンバイインジケーターが赤く点灯したら、電源コードを抜く。**

ランプを交換する

光源のランプが切れたり、暗くなったり、「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたりしたら新しいランプと交換してください。ランプ寿命はその使用条件によって変わってきます。交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-P260 をお使いください。

⚠警告

I / ⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上**してから行ってください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、最寄のテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げのソニー特約店にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損していた場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 **本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

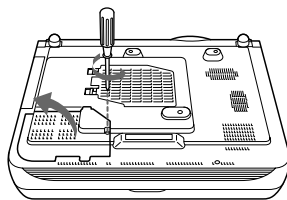
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

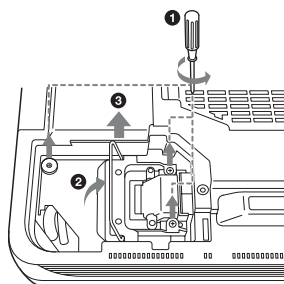
2 **プロジェクターや机に傷がつかないよう布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。**

ご注意

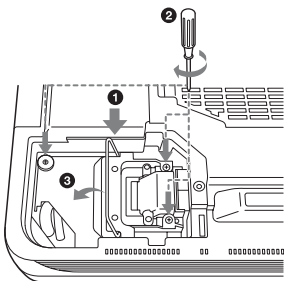
プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 **ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開きます。**

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 **ランプのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめ、取り出し用ハンドルを持ってランプを引き出す。**

ご注意

ねじはワッシャー付きですが取りはずさず緩めるだけにしてください。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジを締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。**

ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを閉め、ネジを締める。

ご注意

ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。内部の一部が破損する恐れがあります。

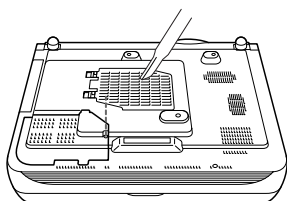
7 プロジェクターの向きを元にもどす。

8 電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。

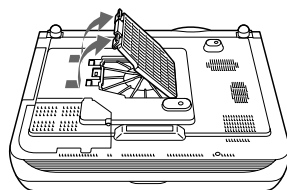
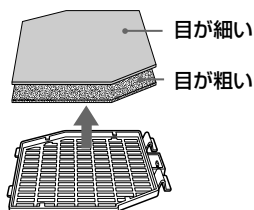
9 コントロールパネルのキーを RESET キー、⬅ キー、➡ キー、ENTER キーの順に、それぞれ 5 秒以内に押す。

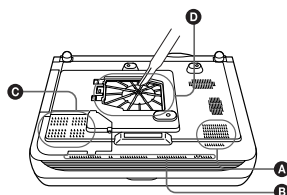
ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

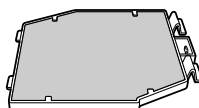
エアーフィルターをクリーニングする

約 1500 時間ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。
1500 時間は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずし洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーをはずす。

3 エアーフィルターをはずす。

4 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

5 セット底面の開口穴 Ⓐ ～ Ⓓ 部も掃除機で掃除する。

6 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのツメ 4ヶ所にはめ込み、エアーフィルターカバーをプロジェクターに取り付ける。

ご注意

- エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。
- フィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアーフィルターと交換してください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、目の粗い側を外側にして入れてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう１度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約 60 秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。 ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔ INPUT キーで正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）される。 ➔ PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。 ➔ ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。

症状	原因と対処
INPUT D 端子から入力している映像の色がおかしい。	・初期設定メニューの「入力 D 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 D 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。
画面がちらつく。	・信号設定メニューのドットフェーズの設定が合っていない。 ➔ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。

インジケーター一覧

POWER SAVING	点灯：	節電モード時に点灯します。
TEMP/FAN	点灯：	本機内部の温度が上がったときに点灯します。吸排気口をふさいでいないか確認してください。
	点滅：	ファンが故障したときに点滅します。お買い上げ店にご相談ください。
LAMP/COVER	点灯：	ランプ交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いときに点灯します。ランプが冷えてからもう一度電源を入れるか、ランプを交換してください。 または電気系の故障の可能性がありますので、お買い上げ店にご相談ください。
	点滅：	ランプカバーがはずれているとき、または正しく装着されていないときに点滅します。 ランプカバーが正しく装着されているか確認してください。
I/⏻ インジケーター	赤色点灯：	スタンバイ状態。I/⏻（オン／スタンバイ）キーで電源を入れることができます。
	緑色点灯：	電源が入っている状態。
	緑色点滅：	電源を切った後の数十秒間。点滅中は、再度、電源を入れることはできません。

主な仕様

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル　0.99 インチマイクロレンズアレイつき TFT SONY LCD パネル 2,359,296 画素（1024 × 768 × 3）

レンズ　約 1.3 倍ズームレンズ（マニュアル）

ランプ　265 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40 インチ～ 300 インチ

光出力　3500 lm[1)]

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離（床置き）

スクリーンサイズ（インチ）	距離（m）
40	1.5 ～ 1.9
60	2.3 ～ 2.9
80	3.0 ～ 3.8
100	3.8 ～ 4.8
150	5.8 ～ 7.2
200	7.7 ～ 9.7
300	11.6 ～ 14.5

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N 自動／手動切り換え

対応コンピューター信号[2)]
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
(最高入力解像度信号 : UXGA 1600 × 1200 fH: 75kHz, fV: 60Hz)

2) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15k RGB 50/60Hz, Progressive Component 50/60Hz DTV(480/60I, 575/50I, 1080/60I, 480/60P, 575/50P, 1080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P) Composite video, Y/C video

外形寸法　420 × 125 × 316 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約 7.8 kg

電源　AC100 V、50/60 Hz

消費電力　最大 365 W
スタンバイモード時 : 6 W

付属品　リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池（2）
HD D-sub 15 ピンケーブル（2.0 m）（1)(1-791-992-31)
USB ケーブル A タイプ－ B タイプ（1）(1-790-081-31)
レンズキャップ (1)
電源コード（1）
交換用エアーフィルター
取扱説明書、設置説明書（CD-ROM） (1)
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-P260 (交換用）

プロジェクターサスペンションサポート
PSS-610

モニターケーブル
SMF400（HD D-sub 15 ピン（オス）⟷ 5 × BNC（オス））

プロジェクションレンズ
長焦点ズームレンズ VPLL-ZM102
短焦点固定レンズ VPLL-FM22
短焦点ズームレンズ VPLL-ZM32

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the connections and basic operations of this unit, and gives notes on operations and information required for maintenance.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.
For safety precautions, refer to the separate "Safety Regulations."

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions, ReadMe file and Installation Manual in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish and Chinese. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open "My Computer."

② Right-click the CD-ROM icon and select "Explorer."

③ Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

Notes

If you cannot open "index.htm" file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in "Operating_Instructions" folder.

On trademarks

- Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Macintosh is a registered trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.
- Adobe and Acrobat Reader is a registered trademark of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

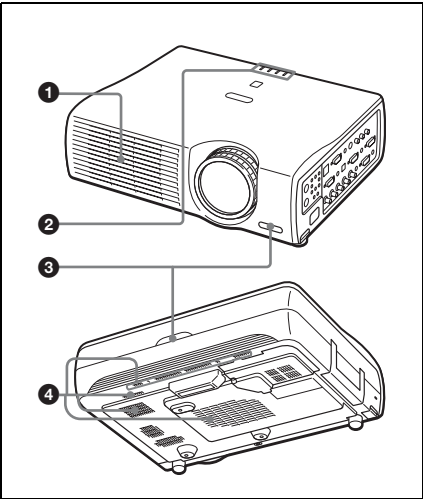
Table of Contents

GB

Notes on Use

Note on the Ventilation Holes

Do not block ventilation holes (exhaust/ intake). If they are blocked, internal heat may build up and cause fire or damage to the unit.
Check the positions of the ventilation holes shown in the following illustrations.

For other precautions, read the separate "Safety Regulations" carefully.

❶ **Ventilation holes (exhaust)**

❷ **Indicators**

❸ **Remote control detector**

❹ **Ventilation holes (intake)**

Note on the Power Cord

Use a proper power cord for your local power supply.

	The United States, Canada		**Continental Europe**		**UK, Ireland, Australia, New Zealand**	**Japan**
Plug type	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_ 1)	YP332
Connector type	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Cord type	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/ CO-228	VCTF
Rated voltage/ Current	10A/ 125V	10A/ 125V	10A/ 250V	10A/ 250V	10A/250V	7A/125V
Safety approval	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Cord length (max.)	4.5 m (14 feet 9 inches)		—			

1)Use an appropriate rating plug which is applied to local regulations.

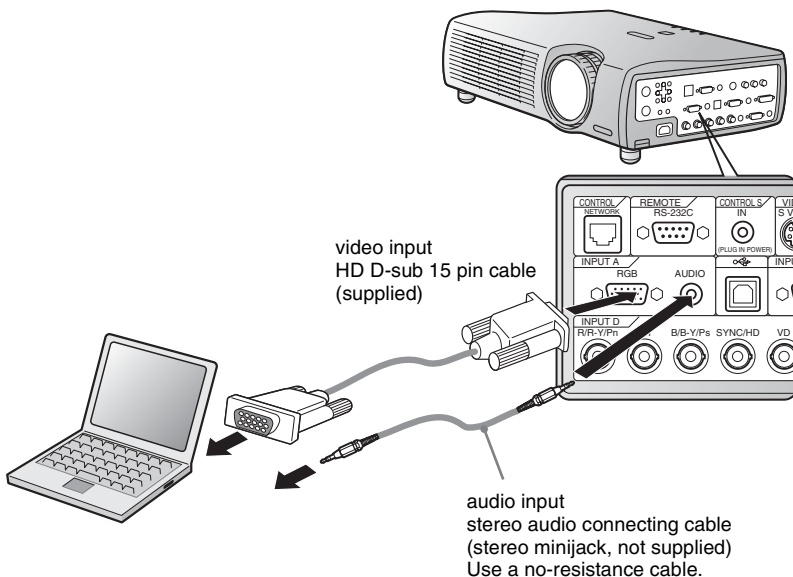
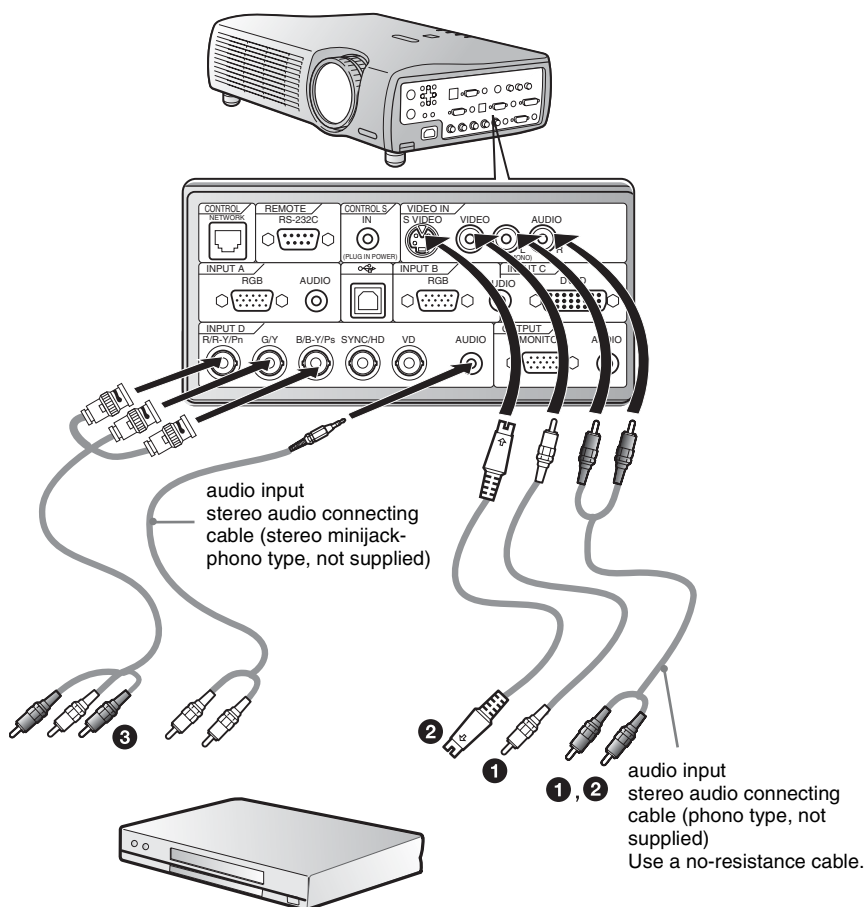
Projecting

Connecting the Projector

When you connect the projector, make sure to:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.

Refer also to the instruction manual of the equipment to be connected.

Connecting with a computer

Connecting with a VCR/DVD player

For video signal connections, the following three connecting options are available:

❶ Composite video (phono plug) cable (not supplied)

❷ S video (Mini DIN 4-pin) cable (not supplied)

❸ Component (3 × BNC) cable (not supplied) (Use a no-resistance cable)

If connection ❸ is made, select the input signal with the “Input-D Signal Sel.” in the SET SETTING menu. For details, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

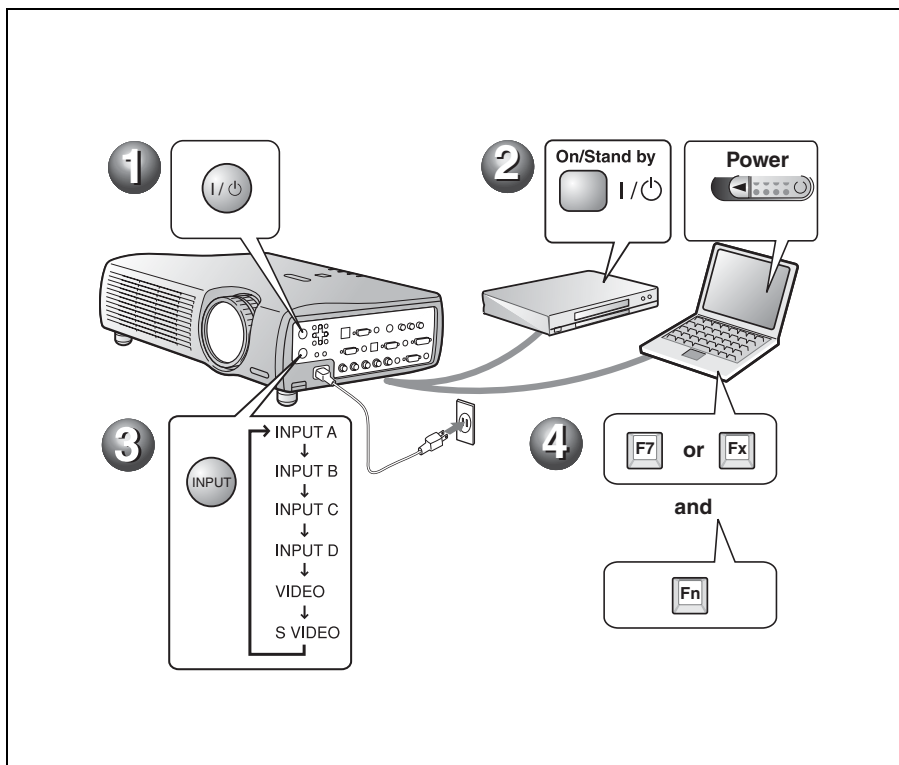
Projecting

Plug the AC power cord into a wall outlet, then connect the equipments.

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

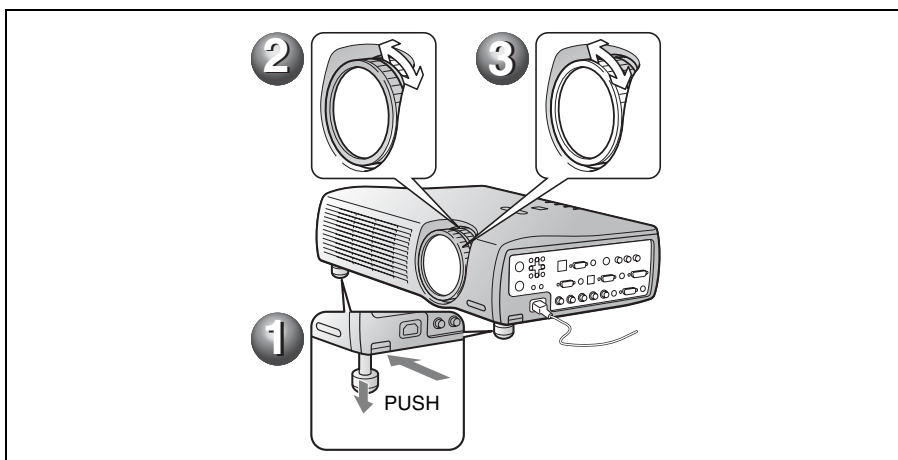
❸ **Press the INPUT key to select the input source.**

❹ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**

Adjusting the Projector

❶ **Lift the projector and press the adjuster adjustment buttons.**

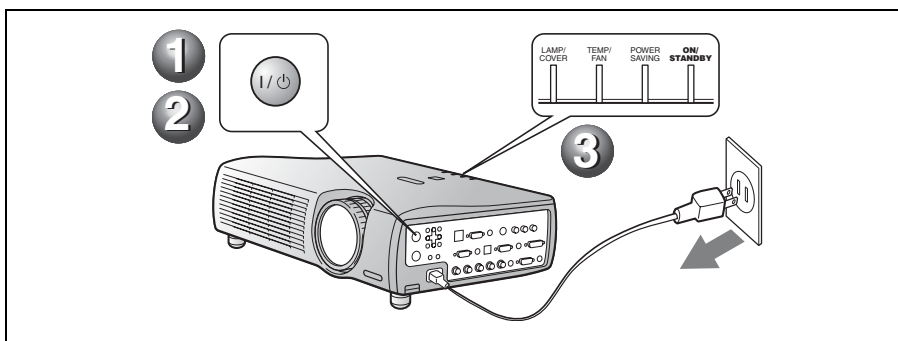
❷ **Adjust the size of the picture.**

❸ **Adjust the focus.**

The projector is equipped with the PICTURE SETTING menu to select the picture mode, and the INPUT SETTING menu to select the appropriate aspect ratio of the picture. For details, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Turning off the Power

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **When a message appears, press the I/⏻ (on/standby) key again.**

❸ **Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the ON/STANDBY indicator has lit in red.**

Replacing the Lamp

When the lamp has burnt out or dims, or "Please replace the LAMP." appears on the screen, replace the lamp with a new one. Use LMP-P260 Projector Lamp as the replacement lamp. The lamp life varies depending on conditions of use.

Caution

The lamp becomes a high temperature after turning off the projector with the I / ⏻ key. **If you touch the lamp, you may scald your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour for the lamp to cool.**

Notes

- If the lamp breaks, consult with qualified Sony personnel.
- Pull out the lamp by holding the handle. If you touch the lamp, you may be burned or injured.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight up. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while tilted and if the lamp is broken, the pieces may scatter, causing injury.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

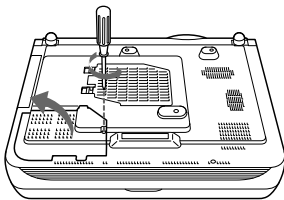
Note

When replacing the lamp after using the projector, wait for at least an hour for the lamp to cool.

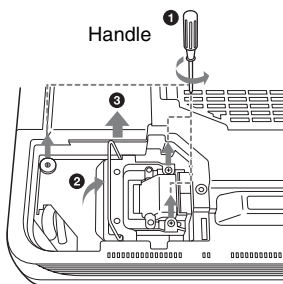
2 Place a protective sheet (cloth) beneath the projector. Turn the projector over so you can see its underside.

Note

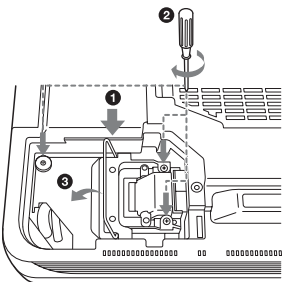
Be sure that the projector is stable after turning it over.

3 Open the lamp cover by loosening a screw with the Phillips screwdriver.

Note

For safety sake, do not loosen any other screws.

4 Loosen the three screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver. Pull out the lamp unit by the handle.

Note

The screws have washers. Do not remove the screws, just loosen them.

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place. Tighten the screws. Fold up the handle.

Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Close the lamp cover and tighten the screws.

Note

Do not tighten the screws too much. Doing so could damage some of the internal components of the projector.

7 Turn the projector back over.

8 Connect the power cord and turn the projector to standby mode.

9 Press the following keys on the control panel in the following sequence for less than five seconds each: RESET, ←, →, ENTER.

Caution

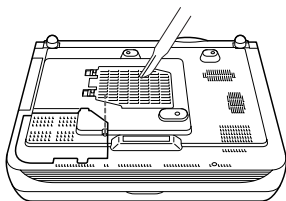
Do not put your hands into the lamp replacement spot, or not fall any liquid or object into it **to avoid electrical shock or fire.**

Disposal of the used lamp

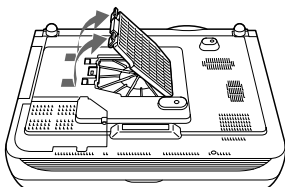
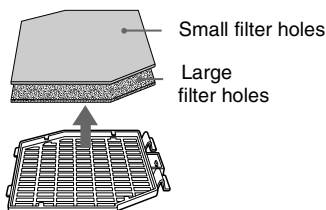
For the customers in the USA

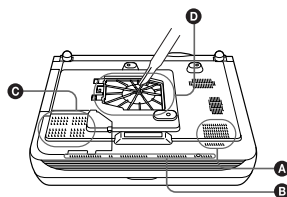
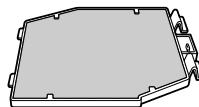
This product contains mercury. Disposal of this product may be regulated if sold in the United States. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or Electronics Industries Alliance (http://www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned every 1500 hours.
Remove dust from the outside of the ventilation holes with a vacuum cleaner.
1500 hours are approximate. This value varies depending on the environment or how the projector is used.

When it becomes difficult to remove the dust from the filter with a vacuum cleaner, remove the air filter and wash it.

1 Turn off the power and unplug the power cord.

2 Remove the air filter cover.

3 Remove the air filter.

4 Wash the air filter with a mild detergent solution and dry it in a shaded place.

5 The openings on the bottom of the projector (A~D) should also be cleaned with a vacuum cleaner.

6 Insert the air filter into the four tabs of the air filter cover, and then attach the air filter cover to the projector.

Notes

- If you neglect to clean the air filter, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.
- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with the supplied new one.
- Be sure to attach the air filter cover firmly; the power will not be turned on if it is not closed securely.
- The air filter has a face and a reverse side. The side of the filter with the larger filter holes should face the outside.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The power has been turned off and on with the I / ⏻ key at a short interval. ➔ Wait for about 60 seconds before turning on the power. • The lamp cover is detached. ➔ Close the lamp cover securely. • The air filter cover is detached. ➔ Close the air filter cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	• Cable is disconnected or the connections are wrong. ➔ Check that the proper connections have been made. • Input selection is incorrect. ➔ Select the input source correctly using the INPUT key. • The picture is muting. ➔ Press the PIC MUTING key to release the muting function. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. ➔ Set the computer signal to output only to an external monitor. ➔ Depending on the type of your computer, for example a notebook, or an all-in-one LCD type, you may have to switch the computer to output to the projector by pressing certain keys or by changing your computer's settings. For details, refer to the computer's operating instructions supplied with your computer.
The picture is noisy.	• Noise may appear on the background depending on the combination of the numbers of dot input from the connector and numbers of pixel on the LCD panel. ➔ Change the desktop pattern on the connected computer.
The picture from INPUT D connector is colored strange.	• Setting for Input-D Signal Sel. in the SET SETTING menu is incorrect. ➔ Select Computer, Video GBR or Component for Input-D Signal Sel. in the SET SETTING menu according to the input signal.
The picture is not clear.	• Picture is out of focus. ➔ Adjust the focus. • Condensation has occurred on the lens. ➔ Leave the projector for about two hours with the power on.

Symptom	Cause and Remedy
The image extends beyond the screen.	• The APA key is pressed although there are black edges around the image. ➔ Display the full image on the screen and press the APA key. ➔ Adjust Shift in the INPUT SETTING menu properly.
The picture flickers.	• Dot Phase in the INPUT SETTING menu has not been adjusted properly. ➔ Adjust Dot Phase in the INPUT SETTING menu properly.

Indicators

POWER SAVING	Lights up when the projector is in power saving mode
TEMP/FAN	Lights up when temperature inside the projector becomes unusually high. Check to see if anything is blocking the ventilation holes.
	Flashes when the fan is broken. Consult with qualified Sony personnel.
LAMP/COVER	Lights up when the lamp has reached the end of its life or becomes a high temperature. Wait for 90 seconds to cool down the lamp and turn on the power again, or replace the lamp. Or the electrical system may break down. Consult with qualified Sony personnel.
	Flashes when the lamp cover is not secured firmly. Attach the cover securely.
I/⏻ indicator	Lights in red when a AC power cord is plugged into a wall outlet. Once in standby mode, you can turn on the projector with the I/⏻ key.
	Lights in green when the power is turned on.
	Flashes in green while the cooling fan runs after the power is turned off with the I/⏻ key. During this time, you will not be able to turn on the projector.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, projection system
LCD panel 0.99-inch TFT SONY LCD panel with micro-lens array 2,359,296 pixels (1,024 × 768 pixels × 3)
Lens 1.3 times zoom lens (Manual)
Lamp 265 W Ultra high pressure lamp
Projection picture size
Range: 40 to 300 inches (diagonal measure)
Light output ANSI lumen[1] 3,500 lm
1) ANSI lumen is a measuring method of American National Standard IT 7.228.

Throwing distance (Floor Installation)
40-inches: 1.5 to 1.9 m (4.9 to 6.2 feet)
60-inches: 2.3 to 2.9 m (7.5 to 9.5 feet)
80-inches: 3.0 to 3.8 m (10.0 to 12.5 feet)
100-inches: 3.8 to 4.8 m (12.5 to 15.7 feet)
150-inches: 5.8 to 7.2 m (19.0 to 23.6 feet)
200-inches: 7.7 to 9.7 m (25.2 to 31.7 feet)
300-inches: 11.6 to 14.5 m (37.9 to 47.6 feet)
Color system NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N system, switched automatically/ manually
Acceptable computer signals[2]
fH: 19 to 92 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input resolution signals: UXGA 1,600 × 1,200 fH: 75kHz, fV: 60Hz)
2) Set the resolution and the frequency of the signal of the connected computer within the range of acceptable preset signals of the projector.
Compatible video signal
15k RGB 50/60Hz,
Progressive Component 50/60Hz DTV (480/60I, 575/50I, 1,080/ 60I, 480/60P, 575/50P, 1,080/ 50I, 720/60P, 720/50P, 540/ 60P), Composite video, Y/C video

Dimensions 420 × 125 × 316 mm (16 5/8 × 5 × 12 1/2 inches) (w/h/d) (without the projection parts)
Mass Approx. 7.8 kg (17 lb 4 oz)
Power requirements
AC 100 to 240 V, 3.65–1.52A, 50/60 Hz
Power consumption
Max. 365 W
in standby mode: 6W
Supplied accessories
Remote Commander (1)
Size AA (R6) batteries (2)
HD D-sub 15-pin cable (2.0 m) (1) (1-791-992-31)
USB cable A type - B type (1) (1-790-081-31)
Lens cap (1)
AC power cord (1)
Air filter (for replacement)
Operating Instructions, Installation Manual for Dealers (CD-ROM) (1)
Quick Reference Manual (1)
Safety Regulations (1)
Security Label (1)
Warranty Card (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-P260 (for replacement)
Projector Suspension Support
PSS-610
Monitor Cable
SMF400 (HD D-sub 15-pin (male) ↔ 5 × BNC (male))
Projection Lense
Long focus zoom lens VPLL-ZM102
Short focus zoom lens VPLL-ZM32
Fixed short focus lens VPLL-FM22

A propos du Guide de référence rapide

Ce guide explique les raccordements et fonctions de base de cet appareil. Il fournit des explications sur le fonctionnement et donne des informations nécessaires à la maintenance.
Pour plus de détails sur le fonctionnement, reportez-vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM fourni.
En ce qui concerne les précautions de sécurité, reportez-vous au manuel séparé « Règlements de sécurité ».

Utilisation des manuels du CD-ROM

Le CD-ROM fourni contient le mode d'emploi, le fichier ReadMe et le manuel d'installation en japonais, anglais, français, allemand, italien, espagnol et chinois. Commencez par consulter le fichier ReadMe.

Préparatifs

Pour lire le mode d'emploi du CD-ROM, vous devez disposez du logiciel AdobeAcrobat Reader 5.0 ou d'une version ultérieure. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez le télécharger gratuitement à partir du site web de Adobe Systems.

Lecture du mode d'emploi

Le mode d'emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur et la lecture du CD-ROM démarre automatiquement après quelques instants. Sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Selon l'ordinateur, il est possible que la lecture ne démarre pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d'emploi de la façon suivante :

(Sous Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Cliquez sur l'icône du CD-ROM avec le bouton droit de la souris et sélectionnez « Explorateur ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Sous Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

Remarques

Si vous ne pouvez pas ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le mode d'emploi que vous souhaitez lire parmi ceux figurant dans le dossier « Operating_Instructions ».

A propos des marques commerciales

- Windows est une marque déposée de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Macintosh est une marque déposée de Apple Computer, Inc. aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Adobe et Acrobat Reader est une marque déposée de Adobe Systems Incorporated aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.

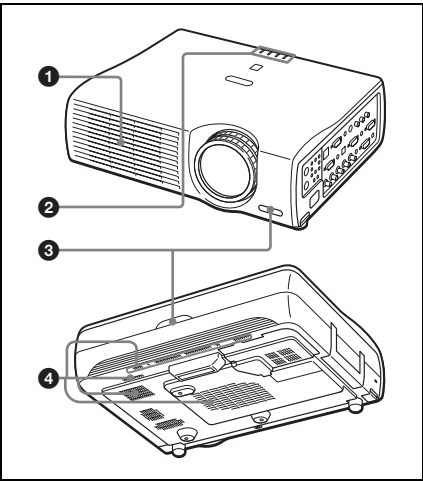
Table des matières

FR

Remarques sur l'utilisation

Remarque sur les orifices de ventilation

N'obstruez pas les orifices de ventilation (sortie d'air et prise d'air). Sinon, vous risquez de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner un incendie ou endommager l'appareil.
Vérifiez l'emplacement des orifices de ventilation dans les illustrations suivantes.

Pour obtenir plus de détails sur les précautions à suivre, lisez attentivement les « Règlements de sécurité » séparées.

1 Orifices de ventilation (sortie d'air)

2 Indicateurs

3 Capteur de télécommande

4 Orifices de ventilation (prise d'air)

Remarque sur le cordon d'alimentation

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à l'alimentation secteur locale.

	États-Unis, Canada		**Europe continentale**		**Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande**	**Japon**
Type de fiche	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	– 1)	YP332
Type de connecteur	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Type de cordon	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Tension et intensités nominales	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Approbation de sécurité	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Longueur de cordon (max.)	4,5 m (14 pieds 9 pouces)		—			

1) Utilisez une fiche appropriée ayant des caractéristiques nominales conformes à la réglementation locale.

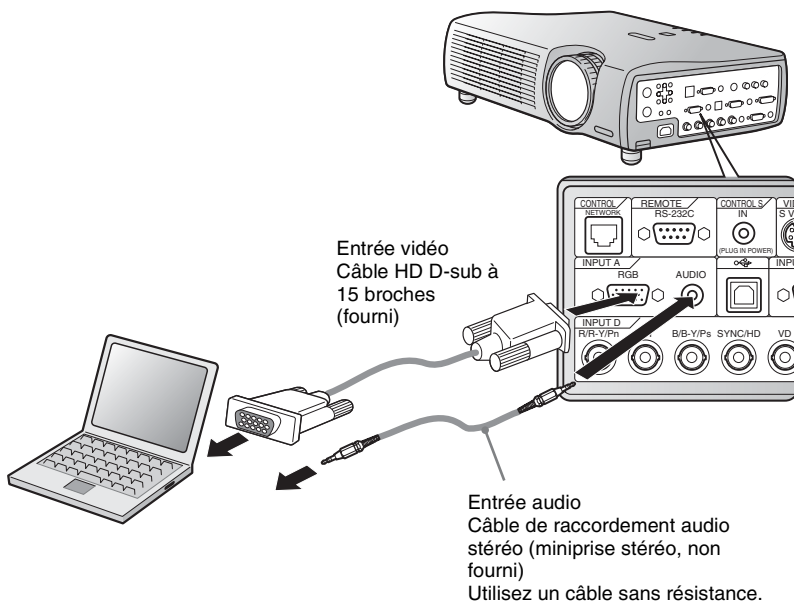
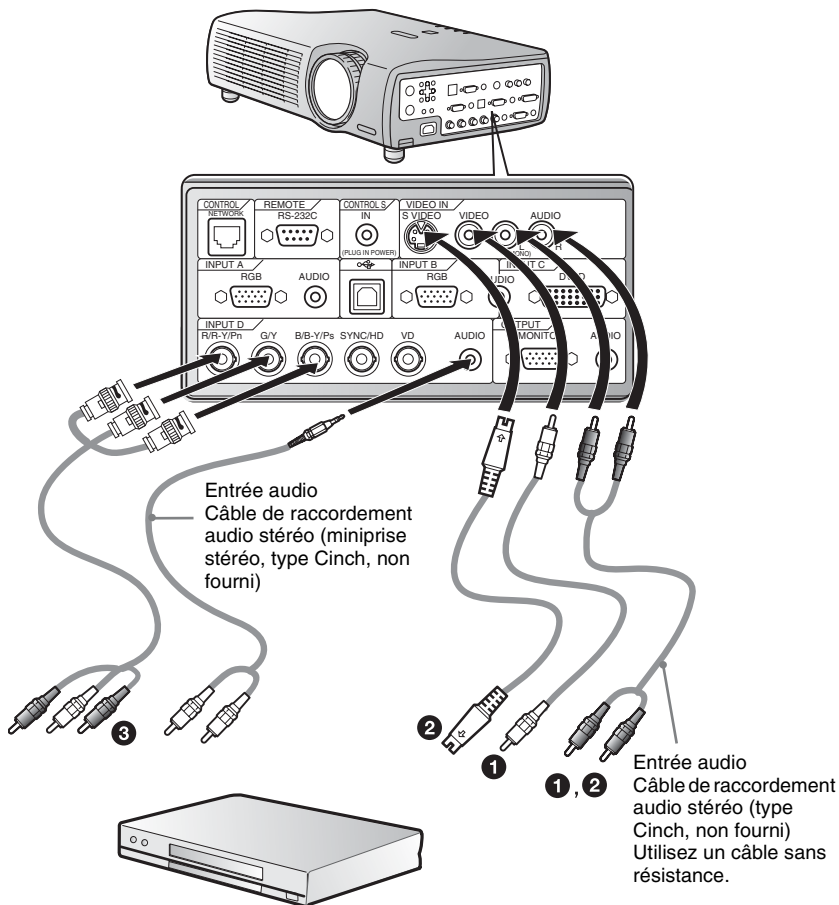
Projection

Raccordement du projecteur

Lors du raccordement du projecteur :

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Branchez correctement les fiches des câbles. Lorsque vous débranchez les câbles, tenez-les par leur fiche. Ne tirez pas sur le câble lui-même.

Reportez-vous également au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.

Raccordement à un ordinateur

Raccordement à un magnétoscope/lecteur DVD

Pour les accordements utilisant des signaux vidéo, vous avez le choix entre les trois options de raccordement suivantes :

❶ Câble vidéo composite (fiche Cinch) (non fourni)

❷ Câble S vidéo (Mini-DIN à 4 broches) (non fourni)

❸ Câble composant (3 × BNC) (non fourni) (Utilisez un câble sans résistance)

Si vous utilisez le raccordement ❸, sélectionnez le signal d'entrée avec « Sél sign entr D » dans le menu RÉGLAGE. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM.

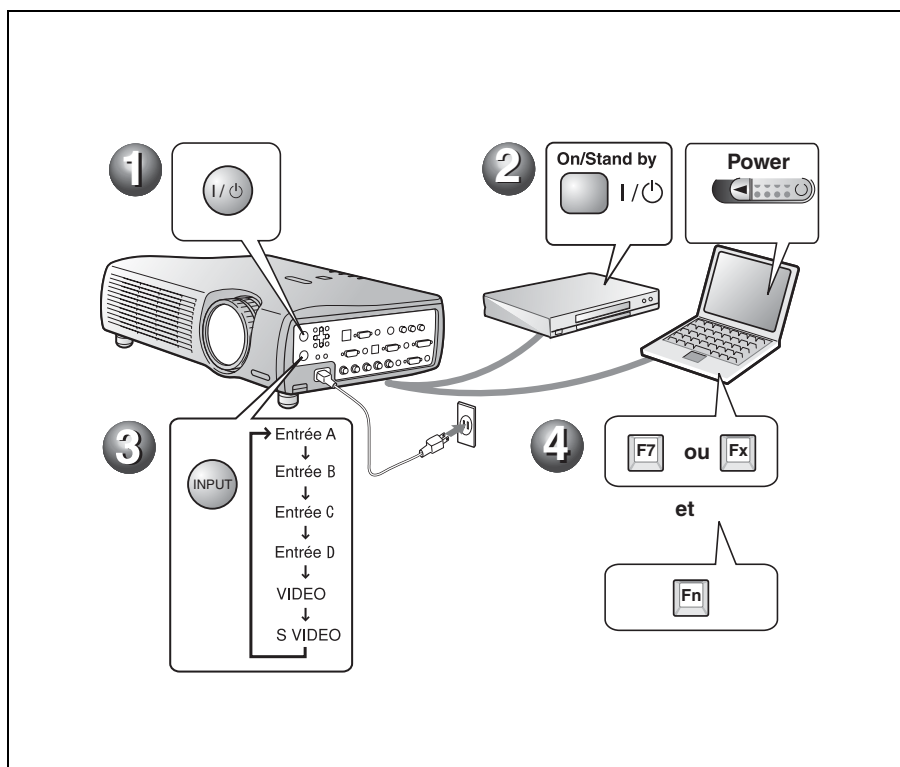
Projection

Avant de procéder au raccordement de l'équipement, branchez le cordon d'alimentation à une prise murale.

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

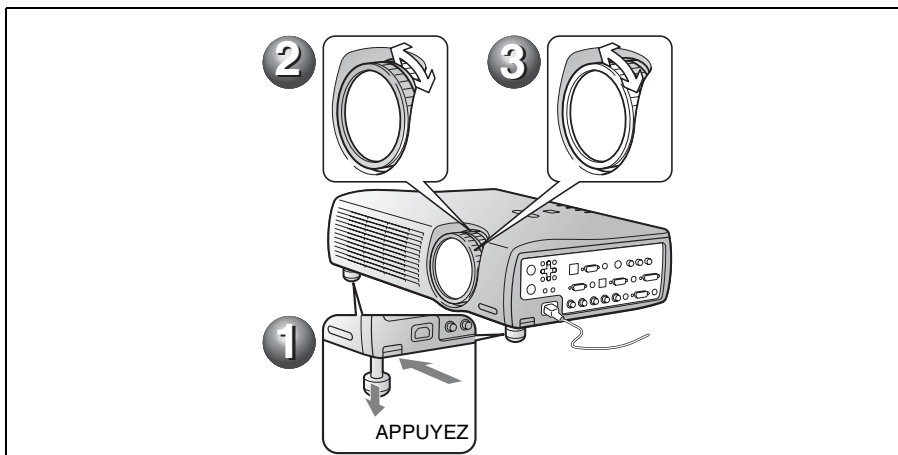
❷ **Mettez l'équipement raccordé au projecteur sous tension.**

❸ **Appuyez sur la touche INPUT pour sélectionner la source d'entrée.**

❹ **Lorsque l'ordinateur est raccordé, réglez-le de sorte qu'il transmette le signal au moniteur externe uniquement.**

Réglage du projecteur

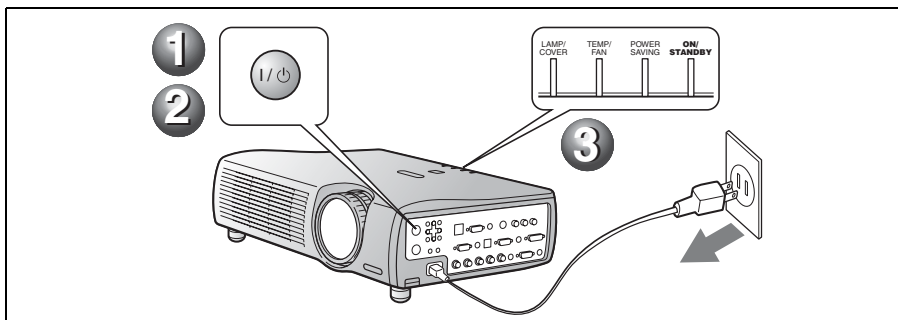
❶ **Soulevez le projecteur et appuyez sur les boutons de verrouillage des pieds réglables.**

❷ **Réglez la taille de l'image.**

❸ **Réglez la mise au point de l'image.**
Le menu PARAMÉTRAGE DE L'IMAGE du projecteur permet de sélectionner le mode d'image et le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE le format approprié de l'image. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Mise hors tension du projecteur

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❷ **Lorsqu'un message apparaît, appuyez de nouveau sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❸ **Attendez que le ventilateur s'arrête et que l'indicateur ON/STANDBY s'allume en rouge avant de débrancher le cordon d'alimentation de la prise murale.**

Remplacement de la lampe

Lorsque la lampe est grillée, que son intensité lumineuse diminue ou que « Remplacer la lampe. » s'affiche à l'écran, remplacez-la par une neuve. Utilisez une lampe pour projecteur LMP-P260 comme lampe de rechange. La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.

Attention

La lampe est très chaude lorsque vous éteignez le projecteur avec la touche I/⏻. **Elle peut vous brûler si vous la touchez. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.**

Remarques

- Si la lampe se casse, consultez le service après-vente Sony.
- Retirez la lampe en la tenant par la poignée. Ne touchez pas la lampe car vous pourriez vous brûler ou vous blesser.
- Lorsque vous retirez la lampe, veillez à ce qu'elle reste horizontale et tirez-la droit vers le haut. N'inclinez pas la lampe. Si vous extrayez le module de lampe en l'inclinant et si la lampe se brise, il se peut que vous vous blessiez avec les éclats.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur.

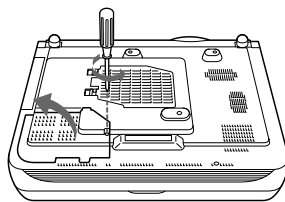
Remarque

Si vous remplacez la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.

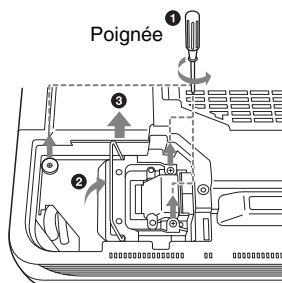
2 Placez une couche de protection (chiffon) sous le projecteur. Retournez le projecteur à l'envers de façon que sa face inférieure soit visible.

Remarque

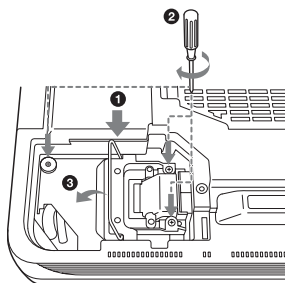
Assurez-vous que le projecteur est stable après l'avoir retourné.

3 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant la vis avec un tournevis cruciforme.

Remarque

Par mesure de sécurité, ne desserrez pas d'autres vis.

4 Desserrez les trois vis du bloc de lampe à l'aide du tournevis cruciforme. Retirez le bloc de lampe en le prenant par la poignée.

Remarque

Les vis comportent des rondelles. Ne retirez pas les vis ; desserrez-les seulement.

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place. Serrez les vis. Repliez la poignée.

Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

6 Refermez le couvercle de la lampe et serrez les vis.

Remarque

Ne serrez pas excessivement les vis. Ceci pourrait endommager certaines pièces internes du projecteur.

7 Remettez le projecteur à l'endroit.

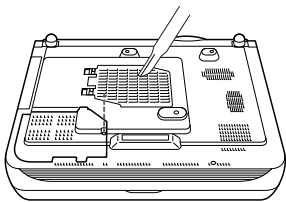
8 Branchez le cordon d'alimentation et mettez le projecteur en veille.

9 Appuyez sur chacune des touches suivantes du panneau de commande selon la séquence indiquée pendant moins de cinq secondes : RESET, ⬅, ➡, ENTER.

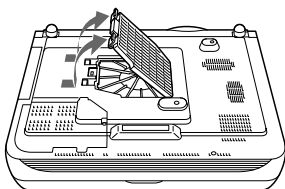
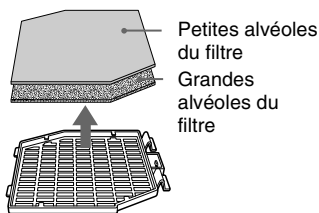
Attention

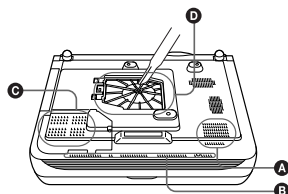
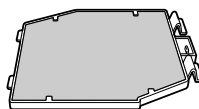
N'introduisez pas les doigts dans le logement de lampe et veillez à ce qu'aucun liquide ou objet n'y pénètre **pour éviter tout risque de choc électrique ou d'incendie.**

Nettoyage du filtre à air

Le filtre à air doit être nettoyé toutes les 1500 heures.
Enlevez la poussière de l'extérieur des orifices de ventilation au moyen d'un aspirateur.
La fréquence de nettoyage approximative est de 1500 heures. Cette fréquence dépend de l'environnement et de la manière dont le projecteur est utilisé.

Quand il devient difficile d'enlever la poussière du filtre avec un aspirateur, retirez le filtre à air et lavez-le.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Retirez le couvercle du filtre à air.

3 Retirez le filtre à air.

4 Lavez le filtre à air au moyen d'une solution détergente neutre et faites-le sécher dans un endroit à l'ombre.

5 Les ouvertures qui se trouvent sur la surface inférieure du projecteur (A~D) doivent aussi être nettoyées avec un aspirateur.

6 Introduire le filtre à air dans les quatre languettes du couvercle de filtre à air, puis poser le couvercle de filtre à air sur le projecteur.

Remarques

- Si vous ne nettoyez pas le filtre à air, la poussière risque de s'y accumuler et de l'obstruer. La température peut alors augmenter à l'intérieur du projecteur et causer un dysfonctionnement ou un incendie.
- Si vous ne parvenez pas à enlever la poussière, remplacez le filtre à air par le filtre neuf fourni.
- Fixez le couvercle du filtre à air correctement. Le projecteur ne se mettra pas sous tension si le couvercle est mal fermé.
- Le filtre à air possède une face avant et une face arrière. La face du filtre avec les grandes alvéoles doit être tournée vers l'extérieur.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et remédiez au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de détails sur les symptômes, reportez-vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Alimentation

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le projecteur a été mis hors et sous tension à brefs intervalles à l'aide de la touche I / ⏻. ➔ Attendez environ 60 secondes avant de mettre le projecteur sous tension. • Le couvercle de la lampe est mal fixé. ➔ Fermez correctement le couvercle de la lampe. • Le couvercle du filtre à air est mal fixé. ➔ Fermez correctement le couvercle du filtre à air.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont mal effectués. ➔ Assurez-vous que les raccordements ont été correctement effectués. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez correctement la source d'entrée à l'aide de la touche INPUT. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour désactiver la fonction de coupure de la sortie d'image. • L'ordinateur n'est pas paramétré pour la sortie de signal vers un moniteur externe ou il est paramétré pour la sortie de signal à la fois vers un moniteur externe et vers son propre écran LCD. ➔ Paramétrez l'ordinateur pour que la sortie de signal ne s'effectue que vers un moniteur externe. ➔ Pour certains types d'ordinateurs (portables ou LCD tout-en-un par exemple), vous devrez peut-être commuter l'ordinateur pour qu'il envoie le signal au projecteur en appuyant sur certaines touches ou en changeant certains paramètres de l'ordinateur. Pour plus d'informations, consultez le mode d'emploi fournie de l'ordinateur.
Bruit sur l'image.	• Du bruit peut apparaître sur l'arrière-plan de l'image pour certaines combinaisons de nombres de points du signal reçu depuis le connecteur et de nombres de pixels du panneau LCD. ➔ Changez la configuration du bureau de l'ordinateur utilisé.

Symptôme	Cause et remède
L'image via le connecteur INPUT D présente des couleurs anormales.	• Le paramétrage de Sél sign entr D est incorrect dans le menu RÉGLAGE. → Sélectionnez Ordinateur, Vidéo GBR ou Composant pour Sél sign entr D dans le menu RÉGLAGE en fonction du signal d'entrée.
L'image n'est pas nette.	• La mise au point de l'image est incorrecte. → Réglez la mise au point de l'image. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. → Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.
L'image dépasse l'écran.	• Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. → Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. → Définissez correctement Déplacement dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.
L'image tremblote.	• Le paramètre Phase des points n'est pas correctement réglé dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE. → Réglez correctement Phase des points dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.

Indicateurs

POWER SAVING	S'allume lorsque le projecteur est en mode d'économie d'énergie.
TEMP/FAN	S'allume lorsque la température à l'intérieur du projecteur devient anormalement élevée. Vérifiez si les orifices de ventilation ne sont pas obstrués.
	Clignote lorsque le ventilateur est défectueux. Consultez le service après-vente Sony.
LAMP/COVER	S'allume lorsque la lampe atteint la fin de sa durée de vie ou que sa température est élevée. Attendez 90 secondes que la lampe refroidisse et remettez l'appareil sous tension ou remplacez la lampe. Le circuit électrique est défectueux. Consultez le service après-vente Sony.
	Clignote lorsque le couvercle de la lampe n'est pas correctement fermé. Fixez correctement le couvercle.
Indicateur I /⏻	S'allume en rouge lorsque le cordon d'alimentation secteur est branché à une prise murale. Lorsque le projecteur est en veille, vous pouvez le mettre sous tension à l'aide de la touche I/⏻.
	S'allume en vert lorsque le projecteur est sous tension.
	Clignote en vert tant que le ventilateur de refroidissement tourne après la mise hors tension à l'aide de la touche I/⏻. Vous ne pourrez pas mettre le projecteur sous tension pendant ce temps.

Spécifications

Système de projection
Système de projection à 3 panneaux LCD, 1 objectif
Panneau LCD
Panneau LCD SONY TFT de 0,99 pouce avec réseau de microlentilles 2 359 296 pixels (1 024 × 768 pixels × 3)
Objectif Objectif zoom 1,3 fois (Manuel)
Lampe Lampe ultra-haute pression de 265 W
Dimensions de l'image projetée
Plage : 40 à 300 pouces (en diagonale)
Intensité lumineuse
lumen ANSI[1] 3 500 lm

1) Lumen ANSI est une méthode de mesure de l'American National Standard IT 7.228.

Distance de projection (Installation au plancher)
40 pouces : 1,5 à 1,9 m (4,9 à 6,2 pieds)
60 pouces : 2,3 à 2,9 m (7,5 à 9,5 pieds)
80 pouces : 3,0 à 3,8 m (10,0 à 12,5 pieds)
100 pouces : 3,8 à 4,8 m (12,5 à 15,7 pieds)
150 pouces : 5,8 à 7,2 m (19,0 à 23,6 pieds)
200 pouces : 7,7 à 9,7 m (25,2 à 31,7 pieds)
300 pouces : 11,6 à 14,5 m (37,9 à 47,6 pieds)
Standard couleur
NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N, sélection automatique/manuelle
Signaux d'ordinateur compatibles[2]
fH : 19 à 92 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée : UXGA 1 600 × 1 200 fH : 75 kHz, fV : 60 Hz)

2) Spécifiez la résolution et la fréquence du signal de l'ordinateur utilisé dans les limites des signaux préprogrammés admissibles du projecteur.

Signal vidéo compatible
15k RGB 50/60 Hz,
composantes progressives 50/60 Hz, DTV (480/60I, 575/ 50I, 1 080/60I, 480/60P, 575/ 50P, 1 080/50I, 720/60P, 720/ 50P, 540/60P),
vidéo composite, vidéo Y/C

Dimensions 420 × 125 × 316 mm (16 5/8 × 5 × 12 1/2 pouces) (l/h/p) (sans pièces de projection)
Poids 7,8 kg environ (17 li. 4 onces)
Alimentation
AC 100 à 240 V, 3,65A–1,52A, 50/60 Hz
Consommation électrique
Max. 365 W
en mode de veille : 6W
Accessoires fournis
Télécommande (1)
Piles de format AA (R6) (2)
Câble HD D-sub à 15 broches (2,0 m) (1) (1-791-992-31)
Câble USB type A - type B (1) (1-790-081-31)
Bouchon d'objectif (1)
Cordon d'alimentation secteur (1)
Filtre à air (pour remplacement)
Mode d'emploi, Manuel d'installation pour les revendeurs (CD-ROM) (1)
Guide de référence rapide (1)
Réglemens de sécurité (1)
Étiquette de sécurité (1)
Bulletin de garantie (1)

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Accessoires en option

Lampe pour projecteur
LMP-P260 (pour remplacement)
Support de suspension du projecteur
PSS-610
Câble de moniteur
SMF400 (HD D-sub à 15 broches (mâle) ←→ 5 × BNC (mâle))
Objectif de projection
Objectif zoom à focale longue VPLL-ZM102
Objectif zoom à focale courte VPLL-ZM32
Objectif à focale courte fixe VPLL-FM22

Acerca del manual de referencia rápida

Este manual de referencia rápida explica las conexiones y operaciones básicas de esta unidad, y ofrece indicaciones sobre las operaciones e información necesarias para el mantenimiento.
Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.
Para obtener más información sobre las precauciones de seguridad, consulte "Normativa de seguridad".

Uso de los manuales en CD-ROM

El CD-ROM suministrado incluye el manual de instrucciones y un archivo ReadMe y el manual de instalación en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español y chino. Primero, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones incluido en el CD-ROM, debe tener instalado Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no dispone de este programa, descargue gratis el software Acrobat Reader de la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones se incluye en el CD-ROM suministrado. Inserte el CD-ROM suministrado en la unidad de CD-ROM del ordenador y al cabo de poco se iniciará automáticamente. Seleccione el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que en algunos ordenadores el CD-ROM no se inicie automáticamente. En este caso, abra el manual de instrucciones como se indica a continuación:

(Si es Windows)

① Abra "Mi PC".

② Haga clic con el botón derecho en el icono del CD-ROM y seleccione "Explorar".

③ Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(Si es Macintosh)

① Haga doble clic en el icono del CD-ROM del escritorio.

② Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Notas

Si no puede abrir el archivo "index.htm", haga doble clic en el manual de instrucciones que desea leer de todos los que aparecen en la carpeta "Operating_Instructions".

Sobre las marcas comerciales

- Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Macintosh es una marca commercial registrada de Apple Computer, Inc. en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Adobe y Acrobat Reader es una marca comercial registrada de Adobe Systems Incorporated en los Estados Unidos y/o en otros países.

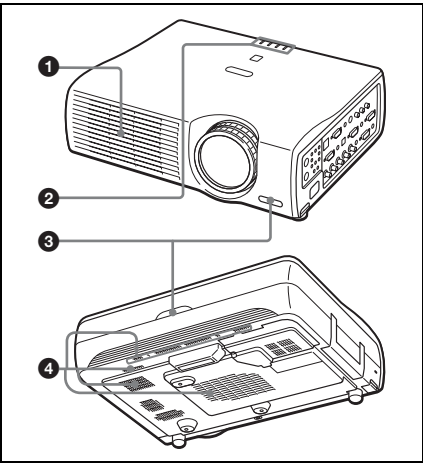
Contenido

ES

Notas sobre el uso

Nota sobre los orificios de ventilación

No bloquee los orificios de ventilación (entrada y salida de aire). Si están bloqueados, la unidad puede calentarse internamente y provocar un incendio o daños en ella misma.
Compruebe el estado de los orificios de ventilación como aparecen en las ilustraciones siguientes.

Para obtener más información sobre otras precauciones que se deben tener en cuenta, consulte atentamente el apartado "Normativa de seguridad".

1. **Orificios de ventilación (escape)**
2. **Indicadores**
3. **Detector de control remoto**
4. **Orificios de ventilación (aspiración)**

Nota sobre el cable de alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

	Estados Unidos, Canadá		**Europa continental**		**Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda**	**Japón**
Tipo de enchufe	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	–[1]	YP332
Tipo de conexión	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Tipo de cable	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/ CO-228	VCTF
Corriente/ tensión nominal	10A/ 125V	10A/ 125V	10A/ 250V	10A/ 250V	10A/250V	7A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Longitud del cable (máx.)	4,5 m (14 pies 9 pulgadas)		—			

1) Utilice un enchufe de valor nominal adecuado, que se ajuste a las normas locales.

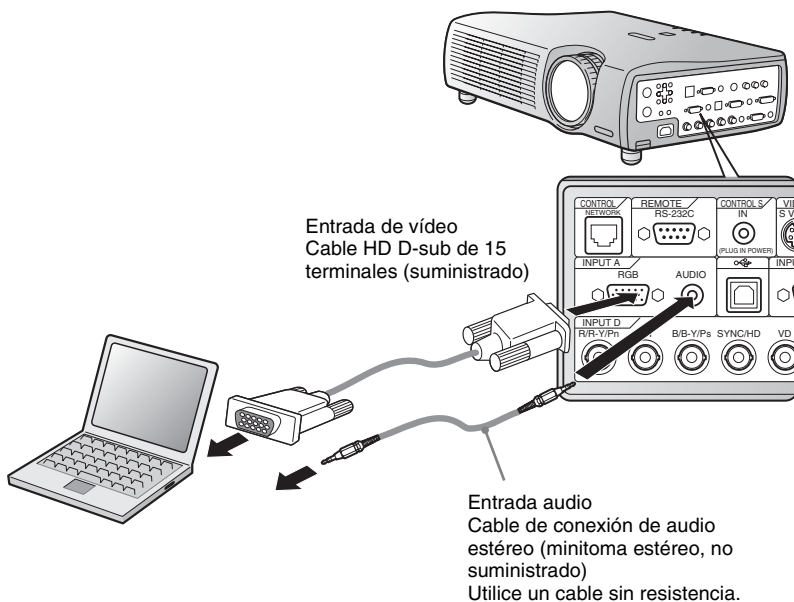
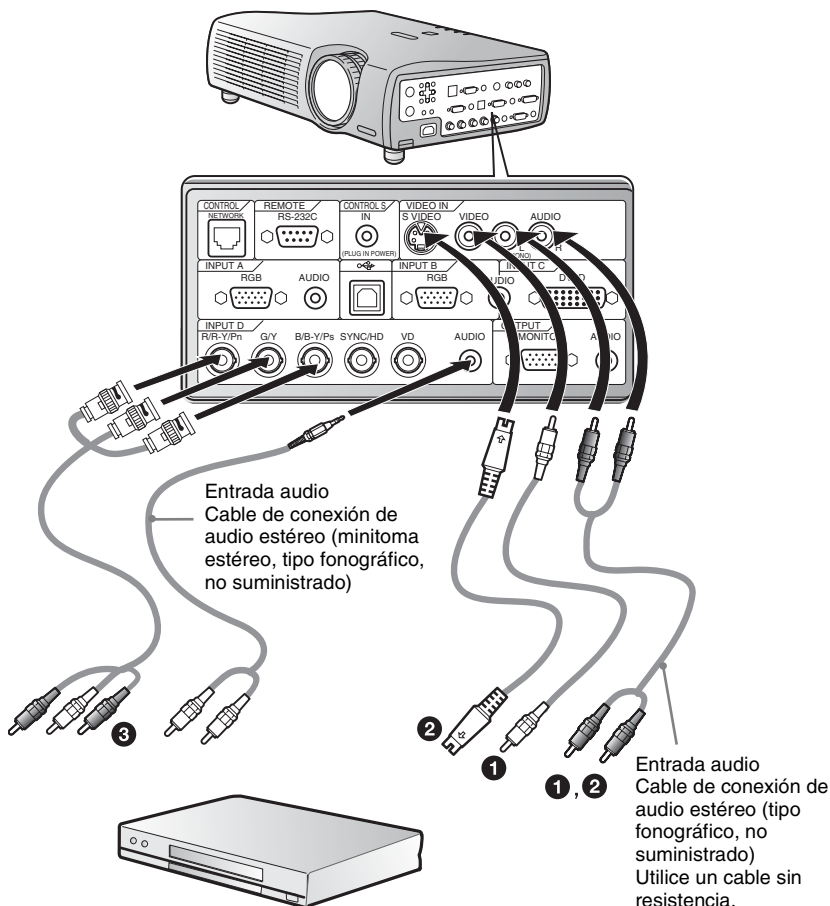
Proyección

Conexión del proyector

Cuando conecte el proyector, asegúrese de lo siguiente:

- Apague todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Introduzca los enchufes de los cables correctamente. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del cable.

Asimismo consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.

Conexión a un ordenador

Conexión a una videograbadora/ reproductor de DVD

Para realizar conexiones de señal de vídeo, puede utilizar las tres opciones de conexión siguientes:

❶ Cable de vídeo compuesto (clavija fonográfica) (no suministrado)

❷ Cable S Video (mini DIN de 4 terminales) (no suministrado)

❸ Cable de vídeo componente (3 × BNC) (no suministrado) (Utilice un cable sin resistencia)

Si se ha realizado la conexión ❸, seleccione la señal de entrada con “Sel. señ. ent. D” del menú AJUSTE. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM.

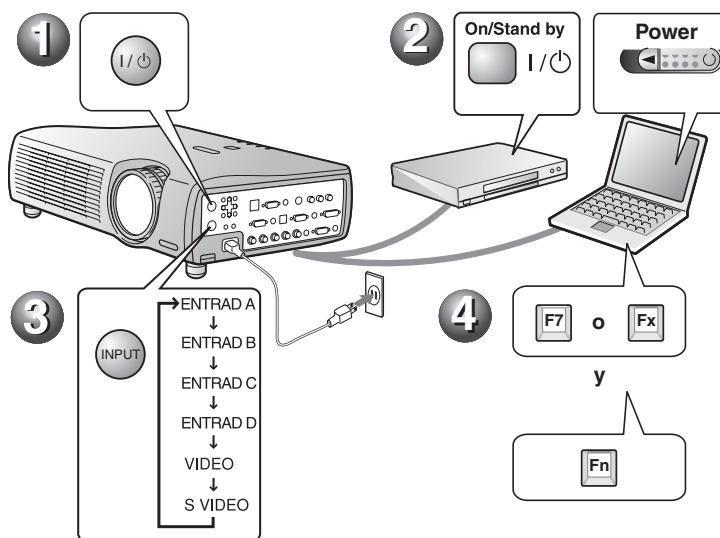
Proyección

Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural y, a continuación, conecte todos los equipos.

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

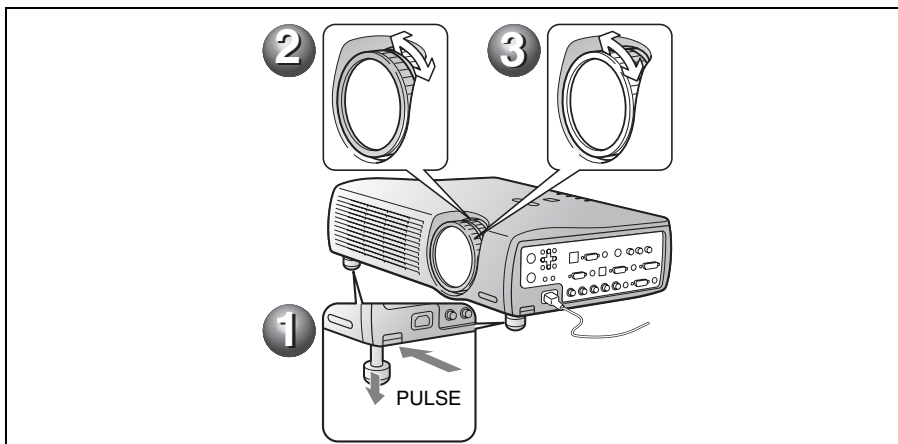
❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

❸ **Pulse la tecla INPUT para seleccionar la fuente de entrada.**

❹ **Cuando el ordenador está conectado, debe ajustarse para que emita la señal sólo al monitor externo.**

Ajuste del proyector

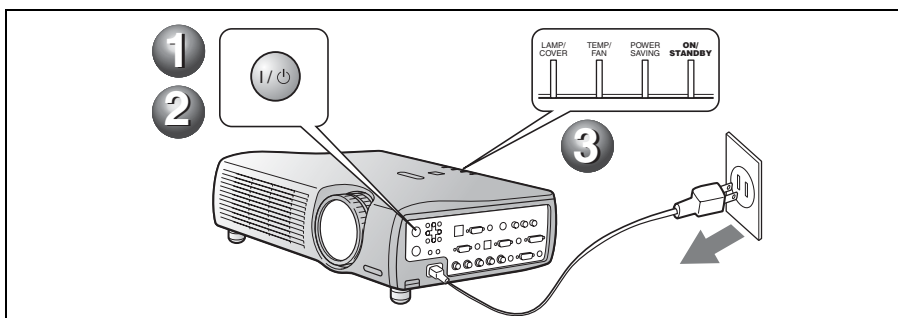
❶ **Levante el proyector y pulse los botones de regulación del ajustador.**

❷ **Ajustar el tamaño de la imagen.**

❸ **Ajuste el enfoque.**
El proyector está equipado con el menú CONFIGURACIÓN DE IMAGEN para seleccionar el modo de imagen y con el menú AJUSTE DE ENTRADA para seleccionar el formato de imagen adecuado. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM.

Apagado de la alimentación

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❷ **Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❸ **Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y el indicador ON/STANDBY se ilumine en rojo.**

Sustitución de la lámpara

Cuando la lámpara se funda o pierda intensidad o cuando aparezca en la pantalla "Por favor cambie la lámpara.", sustituya la lámpara con una nueva. La lámpara de recambio debe ser una lámpara de proyector LMP-P260. La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.

Precaución

La temperatura de la lámpara será alta después de apagar el proyector con la tecla I / ⏻. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora hasta que se enfríe.**

Notas

- Si la lámpara se rompe, consulte con personal especializado de Sony.
- Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el asa. Si toca la lámpara, puede quemarse o herirse.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y tire hacia arriba. No incline la lámpara. Si tira de la unidad de lámpara para extraerla mientras está inclinada y si la lámpara se rompe, los trozos pueden esparcirse, causando heridas.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma de CA.

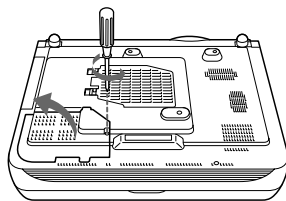
Nota

Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

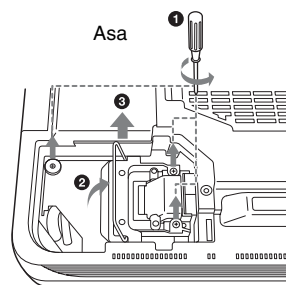
2 Coloque una hoja (paño) de protección debajo del proyector. Dé la vuelta al proyector de forma que vea la parte inferior.

Nota

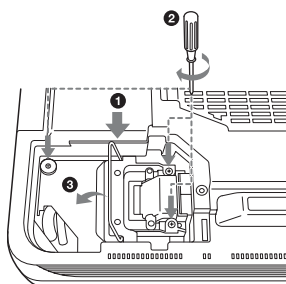
Asegúrese de que el proyector se encuentra en una posición estable después de haberle dado la vuelta.

3 Afloje un tornillo con el destornillador cruciforme para abrir la cubierta de la lámpara.

Nota

Para mayor seguridad, no afloje más tornillos.

4 Afloje los tres tornillos de la lámpara con el destornillador Phillips. Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el asa.

Nota

Los tornillos tienen arandelas. No quite los tornillos, aflójelos solamente.

5 Inserte la lámpara nueva a tope hasta que esté firmemente en su sitio. Apriete los tornillos. Pliegue el asa.

Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara.
- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

6 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete los tornillos.

Nota

No apriete mucho los tornillos. Si lo hace, podrá dañar alguno de los componentes internos del proyector.

7 Vuelva a darle la vuelta al proyector.

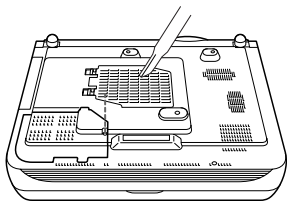
8 Conecte el cable de alimentación y ponga el proyector en el modo de espera.

9 Pulse las teclas siguientes del panel de control en el orden siguiente durante menos de cinco segundos cada una: RESET, ←, →, ENTER.

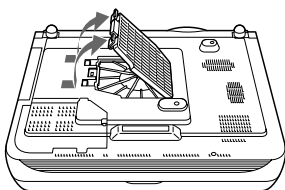
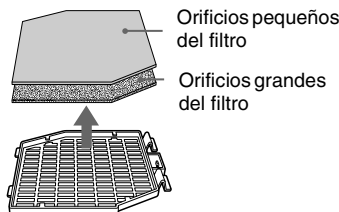
Precaución

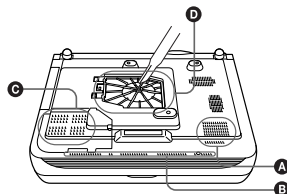
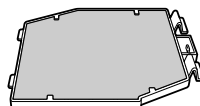
Para evitar descargas eléctricas o incendios, no introduzca las manos en el compartimento de sustitución de la lámpara, **ni permita que se introduzcan líquidos ni objetos.**

Limpieza del filtro de aire

El filtro de aire debe limpiarse cada 1500 horas.
Elimine el polvo de la parte exterior de los orificios de ventilación con un aspirador.
La cifra de 1500 horas es aproximada. Este valor varía en función del entorno y de cómo se utilice el proyector.

Si resulta difícil retirar el polvo del filtro con un aspirador, desmonte el filtro de aire y lávelo.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Extraiga la cubierta del filtro de aire.

3 Extraiga el filtro de aire.

4 Lave el filtro de aire con una solución detergente suave y déjelo secar a la sombra.

5 Las aberturas de la parte inferior del proyector (A~D) deben limpiarse también con una aspiradora.

6 Inserte el filtro de aire en las cuatro lengüetas de la cubierta del filtro de aire y después coloque la cubierta del filtro de aire en el proyector.

Notas

- No descuide la limpieza del filtro de aire, de lo contrario el polvo podría acumularse hasta llegar a obstruirlo. Ello podría provocar un aumento de la temperatura en el interior de la unidad y originar un incendio, o ser la causa de un mal funcionamiento.
- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por el nuevo suministrado.
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro de aire; la alimentación no se activará si no está bien cerrada.
- El filtro de aire tiene una cara frontal y otra inversa. El lado del filtro con orificios grandes debe quedar orientado hacia fuera.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener más información sobre estos problemas, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se enciende.	• La alimentación se ha desactivado y activado de nuevo con la tecla I / ⏻ en un corto intervalo. ➔ Espere unos 60 segundos antes de activar la alimentación. • La cubierta de la lámpara no está fijada. ➔ Cierre firmemente la cubierta de la lámpara. • La cubierta del filtro de aire no está fijada. ➔ Cierre firmemente la cubierta del filtro del aire.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
Sin imagen.	• El cable está desconectado o las conexiones son incorrectas. ➔ Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • La selección de entrada es incorrecta. ➔ Seleccione correctamente la fuente de entrada mediante la tecla INPUT. • La imagen está apagada. ➔ Pulse la tecla PIC MUTING para liberar la función de enmudecimiento. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo, o está ajustada tanto para un monitor externo como para un monitor LCD de ordenador. ➔ Configure el ordenador para que envíe la señal sólo a un monitor externo. ➔ Dependiendo del tipo de ordenador, por ejemplo un portátil o un equipo LCD de tipo “todo en uno”, es posible que deba pulsar determinadas teclas o cambiar la configuración del ordenador para conmutar la salida del ordenador al proyector. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones suministrado con el ordenador.
La imagen aparece con ruido.	• Puede aparecer ruido de fondo en función de la combinación de los números de entrada de puntos del conector y de los números de píxeles del panel LCD. ➔ Cambie el patrón del escritorio del ordenador conectado.
El color de la imagen del conector INPUT D es extraño.	• La configuración para Sel. señ. ent. D en el menú AJUSTE es incorrecta. ➔ Seleccione Ordenador, Vídeo GBR o Componente para Sel. señ. ent. D en el menú AJUSTE según la señal de entrada.

Síntoma	Causa y solución
La imagen no es nítida.	• La imagen está desenfocada. → Ajuste el enfoque. • Se ha condensado humedad en el objetivo. → Deje el proyector encendido durante unas dos horas.
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	• Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. → Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. → Ajuste correctamente Desplazamiento en el menú AJUSTE DE ENTRADA.
La imagen parpadea.	• Fase Punto, en el menú AJUSTE DE ENTRADA, no se ha ajustado correctamente. → Ajuste correctamente Fase Punto en el menú AJUSTE DE ENTRADA.

Indicadores

POWER SAVING	Se ilumina cuando el proyector se encuentra en el modo de ahorro de energía.
TEMP/FAN	Se ilumina cuando la temperatura del interior del proyector es anormalmente alta. Compruebe si algo bloquea los orificios de ventilación.
	Parpadea cuando el ventilador está averiado. Consulte con personal especializado de Sony.
LAMP/COVER	Se ilumina cuando la lámpara llega al final de su vida útil o cuando alcanza una temperatura alta. Espere 90 segundos para que se enfríe la lámpara y encienda de nuevo la unidad o sustituya la lámpara. Se ha producido una avería en el sistema eléctrico. Consulte con personal especializado de Sony.
	Parpadea cuando la cubierta de la lámpara no está fijada correctamente. Coloque la cubierta con firmeza.
Indicador I /⏻	Se ilumina en rojo al enchufar el cable de alimentación de CA en una toma mural. Una vez en el modo de espera, podrá encender el proyector con la tecla I / ⏻.
	Se ilumina en verde cuando la alimentación está activada.
	Parpadea en verde mientras el ventilador de refrigeración funciona tras desactivar la alimentación con la tecla I /⏻. Durante este tiempo no podrá encender el proyector.

Especificaciones

Sistema de proyección
3 paneles LCD, 1 objetivo, sistema de proyección
Panel LCD Panel LCD SONY TFT de 0,99 pulgadas, con matriz de microlentes, 2.359.296 píxeles (1.024 píxeles × 768 píxeles × 3)
Objetivo Objetivo zoom de 1,3 aumentos (manual)
Lámpara Lámpara de presión ultra alta de 265 W
Tamaño de imagen de proyección
Margen: 40 a 300 pulgadas (medida diagonal)
Salida de luz Lúmenes ANSI[1] 3.500 lm

1) Lumen ANSI es un método de medida de American National Standard IT 7.228.

Distancia de proyección (Instalación en el suelo)
40 pulgadas: 1,5 a 1,9 m (4,9 a 6,2 pies)
60 pulgadas: 2,3 a 2,9 m (7,5 a 9,5 pies)
80 pulgadas: 3,0 a 3,8 m (10,0 a 12,5 pies)
100 pulgadas: 3,8 a 4,8 m (12,5 a 15,7 pies)
150 pulgadas: 5,8 a 7,2 m (19,0 a 23,6 pies)
200 pulgadas: 7,7 a 9,7 m (25,2 a 31,7 pies)
300 pulgadas: 11,6 a 14,5 m (37,9 a 47,6 pies)
Sistema de colorSistema
NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N, cambio automático/manual
Señales de ordenador que admite[2]
fH: 19 a 92 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: UXGA 1.600 × 1.200 fH: 75 kHz, fV: 60 Hz)

2) Ajuste la resolución y la frecuencia de la señal del ordenador conectado dentro del margen de señales predefinidas que admite el proyector.

Señal de vídeo compatible
15k RGB 50/60 Hz,
Componente progresivo 50/60 Hz, DTV (480/60I, 575/50I, 1.080/60I, 480/60P, 575/50P, 1.080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P), Vídeo compuesto, Vídeo Y/C

Dimensiones 420 × 125 × 316 mm (16 5/8 × 5 × 12 1/2 pulgadas) (ancho/alto/prof.) (sin las partes salientes)
Masa Aprox. 7,8 kg (17 lb 4 oz)
Requisitos de alimentación
CA 100 a 240 V, 3,65A–1,52A, 50/60 Hz
Consumo de energía
Máx. 365 W
en el modo de espera: 6W
Accesorios que se suministran
Mando a distancia (1)
Pilas tamaño AA (R6) (2)
Cable HD D-sub de 15 terminales (2,0 m) (1) (1-791-992-31)
Cable USB tipo A - tipo B (1) (1-790-081-31)
Tapa del objetivo (1)
Cable de alimentación de CA (1)
Filtro de aire (de repuesto)
Manual de instrucciones, Manual de instalación para proveedores (CD-ROM) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Normative de seguridad (1)
Etiqueta de seguridad (1)
Tarjeta de garantía (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-P260 (de repuesto)
Soporte de suspensión del proyector
PSS-610
Cable de monitor
SMF400 (HD D-sub de 15 terminales (macho) ←→ 5 × BNC (macho))
Objetivo de proyección
Lente zoom de enfoque largo VPLL-ZM102
Lente zoom de enfoque corto VPLL-ZM32
Lente fija de enfoque corto VPLL-FM22

Hinweis zur Kurzanleitung

In diese Kurzreferenz werden das Anschließen und die Grundfunktionen dieses Geräts erläutert. Außwerdem erhalten Sie Hinweise zum Betrieb sowie die nötigen Informationen zur Wartung.
Einzelheiten zum Betrieb und den Funktionen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.
Informationen zu Sicherheitsmaßnahmen sind in den separaten Sicherheitsbestimmungen enthalten.

Die Anleitungen auf CD-ROM

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung, ReadMe-Datei und Installationsanleitung in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch und Chinesisch. Lesen Sie bitte zuerst die ReadMe-Datei.

Vorbereitungen

Zum Aufrufen der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM ist Adobe Acrobat Reader 5.0 oder höher erforderlich. Wenn der Adobe Acrobat Reader auf Ihrem Computer nicht installiert ist, können Sie die Acrobat Reader-Software kostenlos vom URL von Adobe Systems herunterladen.

So rufen Sie die Bedienungsanleitung auf

Die Bedienungsanleitung ist auf der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk des Computers ein. Wählen Sie die Bedienungsanleitung aus, die Sie lessen möchten.
Bei einigen Computern startet die CD-ROM möglicherweise nicht automatisch. Öffnen Sie die Datei mit der Bedienungsanleitung in diesem Fall wie im Forgenden erläutert:

(Windows-Computer)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.

② Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf das CD-ROM-Symbol und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, um die Bedienungsanleitung auszuwählen, die Sie lesen möchten.

(Macintosh-Computer)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, um die Bedienungsanleitung auszuwählen, die Sie lesen möchten.

Hinweise

Wenn Sie die Datei „index.htm“ nicht öffnen können, doppelklicken Sie im Ordner „Operating_Instructions“ auf die Bedienungsanleitung, die Sie lesen möchten.

Hinweise zu den Warenzeichen

- Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Macintosh ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc., in den USA und/oder anderen Ländern.
- Adobe und Acrobat Reader sind eingetragene Warenzeichen der Adobe Systems Incorporated in den USA und/ oder anderen Ländern.

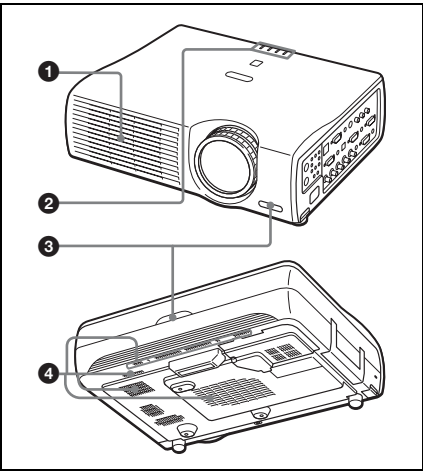
Inhaltsverzeichnis

DE

Hinweise zur Verwendung

Hinweis zu den Lüftungsöffnungen

Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) nicht. Andernfalls kann sich im Inneren ein Wärmestau bilden und es besteht Feuergefahr und das Gerät kann beschädigt werden.
Die Lage der Lüftungsöffnungen ist in den folgenden Abbildungen dargestellt.

Weitere Sicherheitsmaßnahmen sind in den separaten Sicherheitsbestimmungen enthalten. Lesen Sie diese bitte sorgfältig durch.

❶ **Lüftungsöffnungen (Auslass)**

❷ **Anzeigen**

❸ **Fernbedienungssensor**

❹ **Lüftungsöffnungen (Einlass)**

Hinweis zum Netzkabel

Verwenden Sie ein für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignetes Netzkabel.

	USA, Kanada		**Kontinentaleuropa**		**Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland**	**Japan**
Steckertyp	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	–[1)]	YP332
Buchsentyp	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Kabeltyp	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Nennspannung und Stromstärke	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Kabellänge (max.)	4.5 m		—			

1) Verwenden Sie einen Stecker von ausreichender Belastbarkeit, der den örtlichen Vorschriften entspricht.

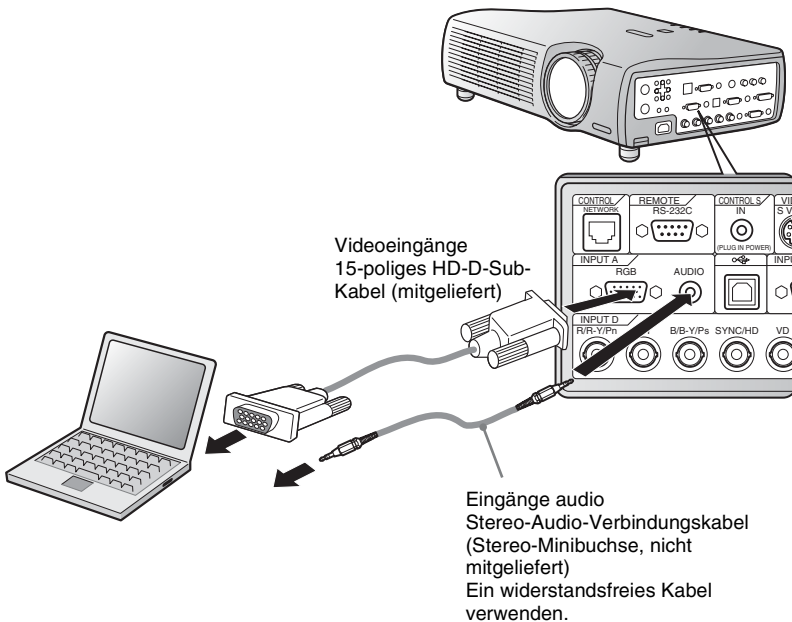
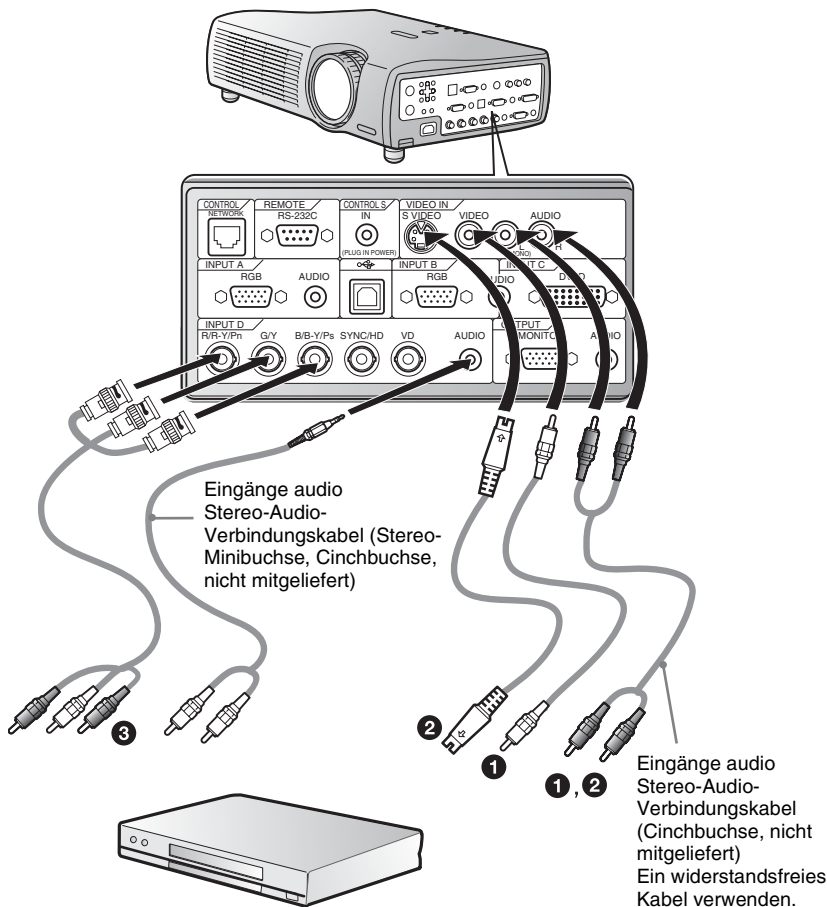
Projizieren

Anschließen des Projektors

Achten Sie beim Anschließen des Projektors auf Folgendes:

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die richtigen Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest ein. Ziehen Sie beim Trennen eines Kabels immer nur am Stecker, nicht am Kabel selbst.

Schlagen Sie bitte auch in der Bedienungsanleitung zum anzuschließenden Gerät nach.

Anschließen an einen Computer

Anschluss an einen Videorecorder

Bei Videosignalverbindungen haben Sie die folgenden drei Anschlussmöglichkeiten:

❶ FBAS-Video-Kabel (Cinchstecker, nicht mitgeliefert)

❷ S-Videokabel (Mini-DIN 4-polig, nicht mitgeliefert)

❸ Komponentenkabel (3 × BNC, nicht mitgeliefert) (Verwenden Sie ein widerstandsloses Kabel)

Wenn Anschluss ❸ vorgenommen wird, wählen Sie das Eingangssignal mit „Input-D Sig. wahl“ im Menü EINSTELLUNG aus. Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

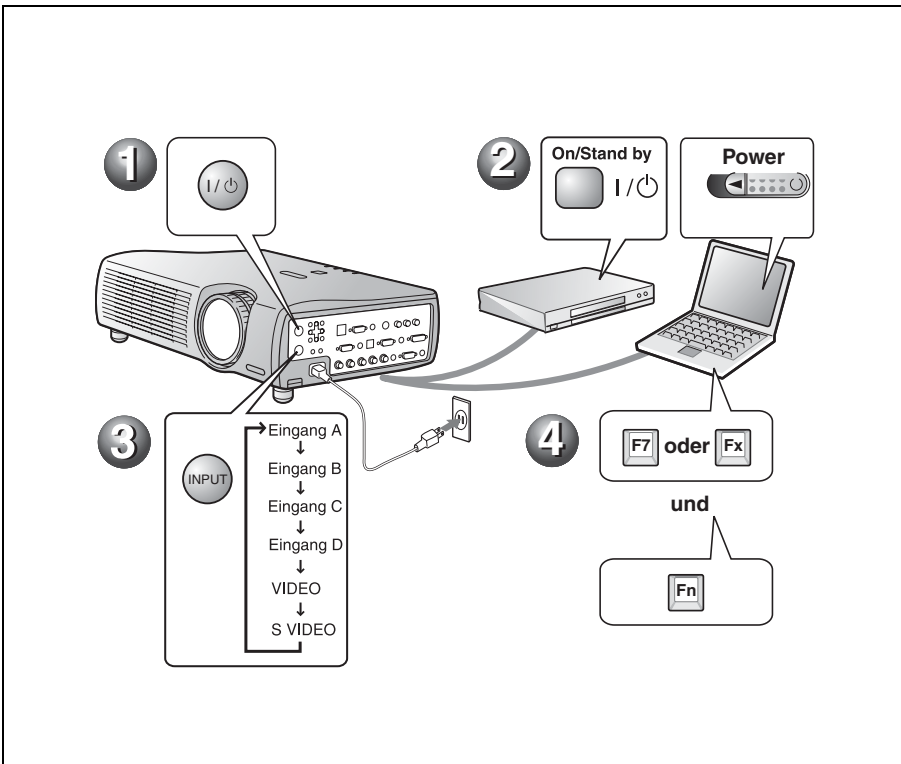
Projizieren

Vor dem Anschließen der Geräte, stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

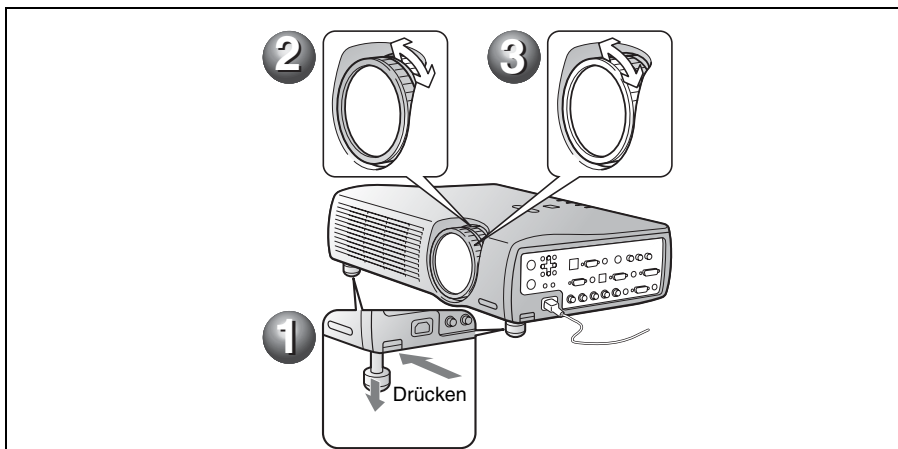
❷ **Schalten Sie die an den Projektor angeschlossenen Geräte ein.**

❸ **Drücken Sie die Taste INPUT zur Wahl der Signalquelle.**

❹ **Wenn Sie einen Computer angeschlossen haben, stellen Sie diesen so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.**

Einstellen des Projektors

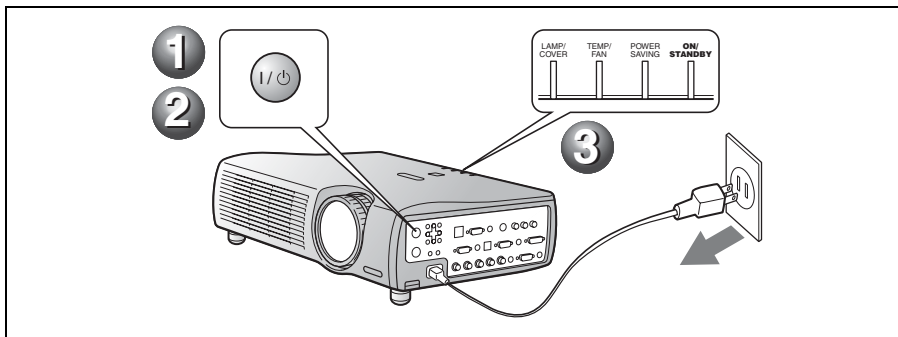
❶ **Heben Sie den Projektor an, und drücken Sie die Fußeinstelltasten.**

❷ **Stellen Sie die Bildgröße ein.**

❸ **Stellen Sie die Schärfe ein.**
Der Projektor verfügt über das Menü BILDEINSTELLUNG zum Auswählen des Bildmodus sowie das Menü EINGANGS-EINSTELLUNG zum Auswählen des geeigneten Bildseitenverhältnisses. Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Ausschalten der Stromversorgung

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/ Bereitschaft) erneut.**

❸ **Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Ventilator stehen bleibt und die Anzeige ON/STANDBY rot leuchtet.**

Auswechseln der Lampe

Wenn die Lampe durchgebrannt oder lichtschwach ist, oder wenn „Lampentausch erforderlich.“ auf der Leinwand erscheint, ersetzen Sie die Lampe durch eine neue. Verwenden Sie die Projektorlampe LMP-P260 als Ersatzlampe. Die Lebensdauer der Lampe hängt von den Betriebsbedingungen ab.

Vorsicht

Die Lampe ist unmittelbar nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻ noch heiß. **Bei Berührung der Lampe besteht Verbrennungsgefahr. Lassen Sie die Lampe mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.**

Hinweise

- Wenden Sie sich im Falle eines Lampenausfalls an qualifiziertes Sony-Personal.
- Ziehen Sie die Lampe am Griff heraus. Bei Berührung der Lampe besteht Verbrennungs- oder Verletzungsgefahr.
- Achten Sie beim Entfernen der Lampe darauf, dass sie waagerecht bleibt und gerade hochgezogen wird. Die Lampe darf nicht geneigt werden. Wenn Sie die Lampeneinheit nicht waagerecht halten und die Lampe zerbricht, können die Splitter Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

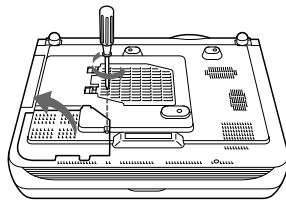
Hinweis

Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

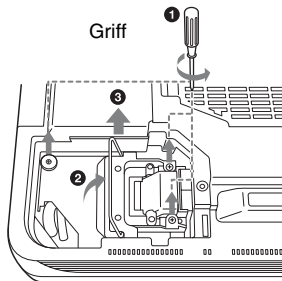
2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor. Drehen Sie den Projektor um, so dass er auf der Oberseite liegt.

Hinweis

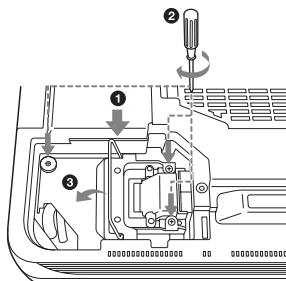
Achten Sie darauf, dass der Projektor nach dem Umdrehen stabil liegt.

3 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der Schraube mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.

Hinweis

Lösen Sie aus Sicherheitsgründen keine anderen Schrauben.

4 Lösen Sie die drei Schrauben an der Lampeneinheit mit dem Kreuzschlitzschraubenzieher. Ziehen Sie die Lampeneinheit am Griff heraus.

Hinweis

Die Schrauben sind mit Unterlegscheiben versehen. Die Schrauben dürfen nicht ganz entfernt, sondern nur gelöst werden.

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie fest sitzt. Ziehen Sie die Schrauben an. Klappen Sie den Griff hoch.

Hinweise

- Achten Sie darauf, den Glaskörper der Lampe nicht zu berühren.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, wenn die Lampe nicht einwandfrei sitzt.

6 Schließen Sie die Lampenabdeckung, und ziehen Sie die Schrauben an.

Hinweis

Ziehen Sie die Schrauben nicht zu fest an. Anderenfalls können einige der Innenteile des Projektors beschädigt werden.

7 Drehen Sie den Projektor wieder um.

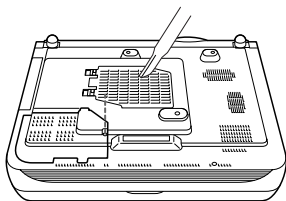
8 Schließen Sie das Netzkabel an, und schalten Sie den Projektor in den Bereitschaftsmodus.

9 Drücken Sie die folgenden Tasten am Bedienfeld in der folgenden Reihenfolge jeweils höchstens fünf Sekunden lang: RESET, ←, →, ENTER.

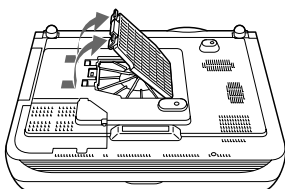
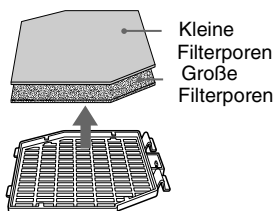
Vorsicht

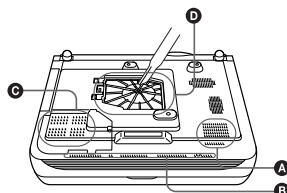
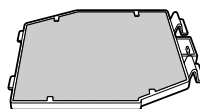
Greifen Sie nicht in den Lampensteckplatz, und achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper eindringen, **um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden.**

Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter sollte alle 1500 Betriebsstunden gereinigt werden. Entfernen Sie Staub mit einem Staubsauger von der Außenseite der Lüftungsöffnungen. 1500 Stunden ist ein Näherungswert. Dieser Wert hängt von der Umgebung und Benutzungsart des Projektors ab.

Wenn sich der Staub nur noch schwer mit einem Staubsauger vom Filter entfernen lässt, nehmen Sie den Filter heraus und waschen Sie ihn.

1 Schalten Sie das Gerät aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Nehmen Sie die Luftfilterabdeckung ab.

3 Nehmen Sie den Luftfilter heraus.

4 Waschen Sie den Luftfilter mit einer milden Reinigungslösung, und lassen Sie ihn an einem schattigen Ort trocknen.

5 Die Öffnungen an der Unterseite des Projektors (Ⓐ~Ⓓ) sollten ebenfalls mit einem Staubsauger gereinigt werden.

6 Schieben Sie den Luftfilter unter die vier Zungen der Luftfilterabdeckung ein, und bringen Sie dann die Luftfilterabdeckung am Projektor an.

Hinweise

- Wird die Reinigung des Luftfilters vernachlässigt, kann der Luftfilter durch Staubablagerung zugesetzt werden. Als Folge kann die Temperatur im Gerät so weit ansteigen, dass es zu einer Funktionsstörung oder sogar einem Brand kommen kann.
- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch den mitgelieferten Ersatzluftfilter.
- Bringen Sie die Luftfilterabdeckung vorschriftsmäßig an. Das Gerät lässt sich nicht einschalten, wenn die Abdeckung nicht richtig geschlossen ist.
- Der Luftfilter hat eine Vorder- und eine Rückseite. Die Seite des Filters mit den großen Filterporen muss nach außen weisen.

Störungsbehebung

Falls Störungen im Projektorbetrieb auftreten, versuchen Sie anhand der folgenden Anweisungen, das Problem einzugrenzen und zu beheben. Falls das Problem bestehen bleibt, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Personal.
Weitere Informationen zu den Fehlersymptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Gerät lässt sich nicht einschalten.	• Das Gerät wurde mit der Taste I / ⏻ in kurzem Abstand aus- und wieder eingeschaltet. ➔ Warten Sie vor dem erneuten Einschalten etwa 60 Sekunden lang. • Die Lampenabdeckung wurde abgenommen. ➔ Schließen Sie die Lampenabdeckung einwandfrei. • Die Luftfilterabdeckung wurde abgenommen. ➔ Schließen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Überprüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt sind. • Die Eingangswahl ist nicht korrekt. ➔ Wählen Sie die Eingangsquelle mit der Taste INPUT korrekt aus. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Abschaltung aufzuheben. • Der Computer ist nicht auf Signalausgabe an einen externen Monitor oder aber auf Signalausgabe sowohl an einen externen Monitor als auch an den eigenen LCD-Monitor eingestellt. ➔ Stellen Sie Ihren Computer so ein, dass das Signal nur zum externen Monitor ausgegeben wird. ➔ Je nach der Art Ihres Computers (z.B. Notebook-Computer oder voll integrierter LCD-Typ) müssen Sie den Computer eventuell durch Drücken bestimmter Tasten oder durch Ändern der Einstellungen so einstellen, dass das Ausgangssignal an den Projektor ausgegeben wird. Einzelheiten entnehmen Sie bitte der Bedienungsanleitung Ihres Computers.
Das Bild ist verrauscht.	• Hintergrundrauschen kann auftreten, wenn die Anzahl der über den Anschluss eingespeisten Bildpunkte nicht mit der Anzahl der Pixel auf dem LCD-Panel übereinstimmt. ➔ Ändern Sie das Desktop-Muster des angeschlossenen Computers.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das in INPUT D eingespeiste Bild weist Farbverfälschungen auf.	• Die Einstellung für Input-D Sig.wahl im Menü EINSTELLUNG ist falsch. ➔ Wählen Sie Computer, Video GBR oder Komponenten für Input-D Sig.wahl im Menü EINSTELLUNG entsprechend dem Eingangssignal.
Das Bild ist unscharf.	• Das Bild wurde nicht richtig scharf gestellt. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Das Objektiv ist beschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet stehen.
Das Bild steht von der Leinwand über.	• Die Taste APA wurde gedrückt, obwohl schwarze Balken am Bildrand vorhanden sind. ➔ Zeigen Sie das volle Bild auf der Leinwand an, und drücken Sie die Taste APA. ➔ Stellen Sie Lage im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.
Das Bild flimmert.	• Punkt-Phase im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG wurde nicht korrekt eingestellt. ➔ Stellen Sie Punkt-Phase im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.

Anzeigen

POWER SAVING	Leuchtet auf, wenn sich der Projektor im Stromsparmodus befindet.
TEMP/FAN	Leuchtet auf, wenn die Temperatur im Projektor ungewöhnlich stark ansteigt. Prüfen Sie nach, ob die Lüftungsöffnungen blockiert werden.
	Blinkt, wenn der Lüfter ausfällt. Wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.
LAMP/COVER	Leuchtet auf, wenn die Lampe ausgewechselt werden muss oder zu heiß wird. Warten Sie 90 Sekunden, bis die Lampe etwas abgekühlt ist, und schalten Sie das Gerät wieder ein oder tauschen Sie die Lampe aus. Das elektrische System ist nicht stabil. Wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.
	Blinkt, wenn die Lampenabdeckung nicht richtig geschlossen ist. Bringen Sie die Abdeckung fest an.
Anzeige I/⏻	Leuchtet rot, wenn das Netzkabel in eine Netzsteckdose gesteckt wird. Wenn sich der Projektor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit der Taste I / ⏻ einschalten.
	Leuchtet grün, wenn der Projektor eingeschaltet wird.
	Blinkt grün, während der Ventilator läuft, nachdem der Projektor mit der Taste I /⏻ ausgeschaltet worden ist. In dieser Zeit können Sie den Projektor nicht einschalten.

Technische Daten

Projektionssystem
Projektionssystem mit 3 LCD-Panels und 1 Objektiv
LCD-Panel 0,99-Zoll-TFT-SONY-LCD-Panel mit Micro-Lens Array, 2.359.296 Pixel (1.024 × 768 Pixel × 3)
Objektiv 1,3-fach-Zoomobjektiv (Manuell)
Lampe 265-W-Ultra-Hochdrucklampe
Projektionsbildgröße
Bereich: 40 bis 300 Zoll (Diagonale)
Lichtleistung ANSI-Lumen[1] 3.500 lm

1) ANSI-Lumen ist ein Messverfahren gemäß American National Standard IT 7.228.

Projektionsentfernung (Bodeninstallation)
40-Zoll: 1,5 bis 1,9 m
60-Zoll: 2,3 bis 2,9 m
80-Zoll: 3,0 bis 3,8 m
100-Zoll: 3,8 bis 4,8 m
150-Zoll: 5,8 bis 7,2 m
200-Zoll: 7,7 bis 9,7 m
300-Zoll: 11,6 bis 14,5 m
Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N-System, automatische/manuelle Umschaltung
Akzeptable Computersignale[2]
fH: 19 bis 92 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: UXGA 1.600 × 1.200 fH: 75kHz, fV: 60Hz)

2) Stellen Sie Auflösung und Frequenz des vom angeschlossenen Computer ausgegebenen Signals auf Werte ein, die innerhalb des Bereichs der akzeptablen Vorwahlsignale des Projektors liegen.

Kompatibles Videosignal
15k RGB 50/60Hz,
Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60I, 575/50I, 1.080/60I, 480/60P, 575/50P, 1.080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P), FBAS-Video, Y/C-Video
Abmessungen 420 × 125 × 316 mm (B/H/T) (ohne vorspringende Teile)
Gewicht ca. 7,8 kg
Stromversorgung
100 bis 240 V Wechselstrom, 3,65A–1,52A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
Max. 365 W
im Bereitschaftsmodus: 6W
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Batterien der Größe AA (R6) (2)
15-poliges HD-D-Sub-Kabel (2,0 m) (1) (1-791-992-31)
USB-Kabel Typ A - Typ B (1) (1-790-081-31)
Objektivdeckel (1)
Netzkabel (1)
Luftfilter (Ersatz)
Bedienungsanleitung, Installationsanleitung für Händler (CD-ROM) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsbestimmungen (1)
Sicherheitsaufkleber (1)
Garantiekarte (1)

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-P260 (als Ersatz)
Projektor-Deckenhalter
PSS-610
Monitorkabel
SMF400 (HD D-Sub 15-polig (Stecker) ←→ 5 × BNC (Stecker))
Projektionsobjektiv
Zoomobjektiv mit langer Brennweite
VPLL-ZM102
Zoomobjektiv mit kurzer Brennweite
VPLL-ZM32
Objektiv mit feststehender kurzer Brennweite
VPLL-FM22

Informazioni relative alla Guida rapida all'uso

Nella presente Guida rapida all'uso sono illustrati i collegamenti e le operazioni di base dell'apparecchio e vengono fornite note sulle operazioni nonché le informazioni necessarie per la manutenzione.
Per ulteriori informazioni sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso incluse nel CD-ROM in dotazione.
Per le precauzioni sulla sicurezza, consultare il manuale "Normative di sicurezza" separato.

Uso dei manuali inclusi nel CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le Istruzioni per l'uso, il file ReadMe e il Manuale d'installazione disponibili nelle lingue Giapponese, Inglese, Francese, Tedesco, Italiano, Spagnolo e Cinese.
Innanzitutto, consultare il file ReadMe.

Preparazione

Per consultare le Istruzioni per l'uso incluse nel CD-ROM, è necessario disporre di Adobe Acrobat Reader 5.0 o versione successiva. Se Adobe Acrobat Reader non è installato nel computer, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader accedendo all'indirizzo URL di Adobe Systems.

Lettura delle Istruzioni per l'uso

Le Istruzioni per l'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CDROM in dotazione nell'apposita unità del computer. Dopo alcuni istanti, il CD-ROM viene avviato automaticamente. Selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.
È possibile che il CD-ROM non venga avviato automaticamente, a seconda del computer. In tal caso, aprire il file delle Istruzioni per l'uso effettuando quanto segue:

(Per Windows)

① Aprire "Risorse del computer".

② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM, quindi selezionare "Explorer (Esplora)".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.

(Per Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.

Note

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle Istruzioni per l'uso che si desidera consultare tra quelle incluse nella cartella "Operating_Instructions".

Informazioni sui marchi di fabbrica

- Windows è un marchio commerciale registrato di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Macintosh è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc. negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Adobe e Acrobat Reader è un marchio di fabbrica registrato di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti e/o in altri paesi.

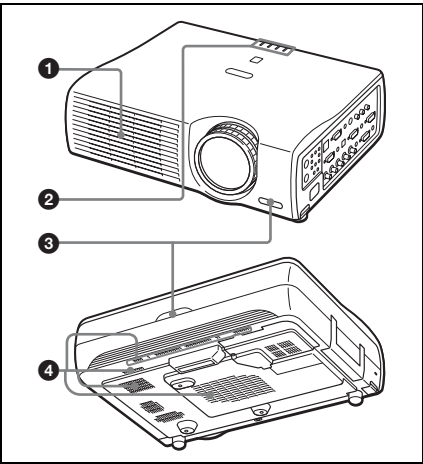
Indice

IT

Note sull'uso

Nota sulle prese di ventilazione

Non ostruire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione). Diversamente, potrebbero verificarsi surriscaldamenti interni causando incendi o eventuali danni all'apparecchio.
Verificare le posizioni delle prese di ventilazione nelle illustrazioni riportate di seguito.

Per le altre precauzioni, consultare attentamente il manuale separato "Normative di sicurezza".

❶ **Prese di ventilazione (scarico)**

❷ **Indicatori**

❸ **Sensore del telecomando**

❹ **Prese di ventilazione (aspirazione)**

Nota sul cavo di alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla rete elettrica locale.

	Stati Uniti, Canada		**Europa continentale**		**Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda**	**Giappone**
Tipo di spina	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
Tipo di connettore	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Tipo di cavo	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/ CO-228	VCTF
Tensione e corrente nominale	10A/ 125V	10A/ 125V	10A/ 250V	10A/ 250V	10A/250V	7A/125V
Approvazio-ne di sicurezza	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Lunghezza cavo (max.)	4,5 m		—			

1) Usare una spina con ura potenza nominale conforme alle normative locali applicabili.

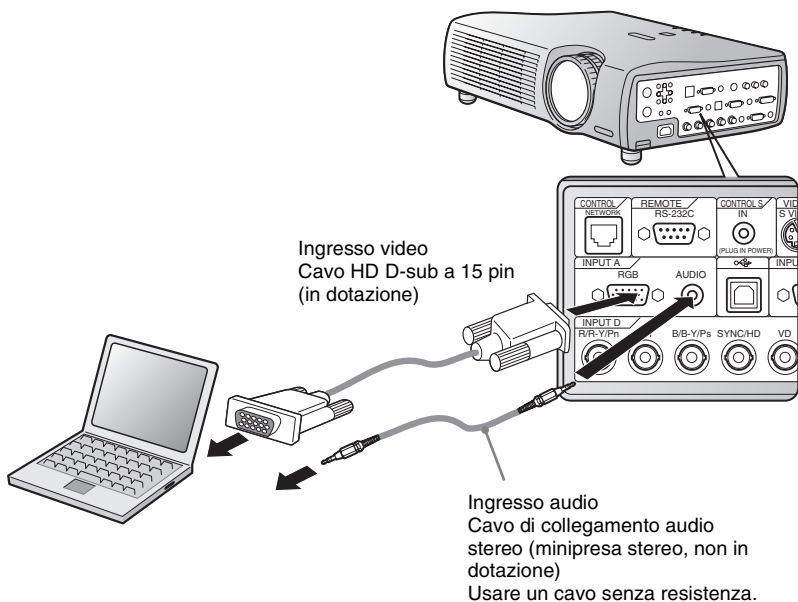
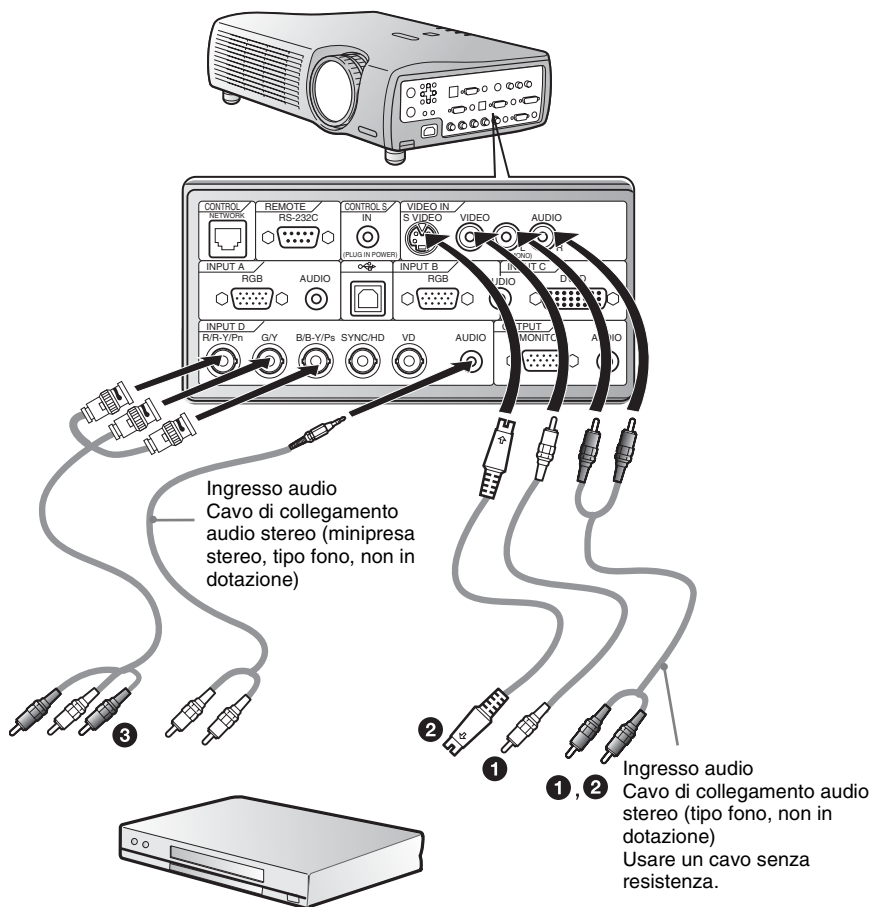
Proiezione

Collegamento del proiettore

Quando si collega il proiettore, accertarsi di:

- Spegnere tutte le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Utilizzare i cavi adatti per ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi. Quando si scollega un cavo, tirare la spina e non il cavo stesso.

Fare inoltre riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.

Collegamento con un computer

Collegamento con un videoregistratore/ lettore DVD

Per i segnali video, sono disponibili le tre opzioni di collegamento riportate di seguito:

❶ Cavo video composito (spina fono) (non in dotazione)

❷ Cavo S video (Mini DIN a 4 pin) (non in dotazione)

❸ Cavo componente (3 × BNC) (non in dotazione) (Usare un cavo senza resistenza)

Se viene utilizzato il collegamento ❸, selezionare il segnale di ingresso mediante l'impostazione "Sel. segn. in D" nel menu REGOLAZIONE. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

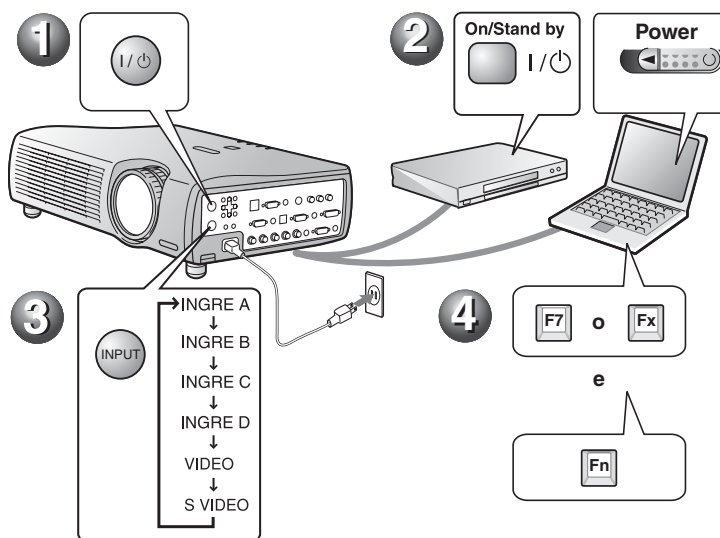
Proiezione

Prima di procedere al collegamento degli apparecchi, inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

1 Premere il tasto I/⏻ (accensione/attesa).

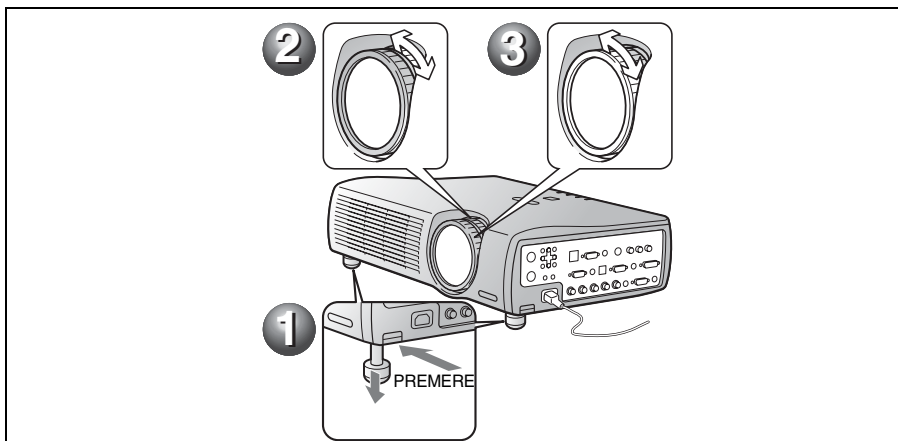
2 Accendere l'apparecchio collegato al proiettore.

3 Premere il tasto INPUT per selezionare la sorgente di ingresso.

4 Quando è collegato il computer, impostare quest'ultimo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.

Regolazione del proiettore

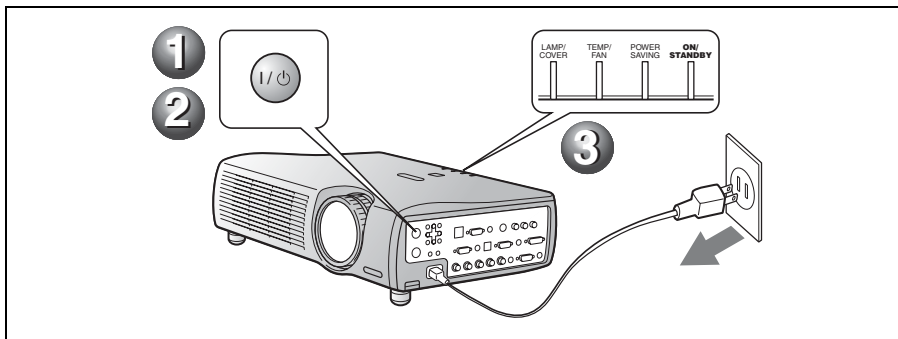
❶ **Sollevare il proiettore e premere i tasti dei dispositivi di regolazione.**

❷ **Regolare la dimensione dell'immagine.**

❸ **Regolare la messa a fuoco.**
Il proiettore dispone del menu IMPOSTA IMMAGINE, in cui è possibile selezionare il modo di immagine, e del menu REGOLAZIONE INGRESSO, in cui è possibile selezionare il rapporto di formato dell'immagine. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

Spegnimento dell'alimentazione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (accensione/attesa).**

❷ **Quando si visualizzat un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻ (accensione/attesa).**

❸ **Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro quando la ventola si ferma e l'indicatore ON/STANDBY si illumina in rosso.**

Sostituzione della lampada

Quando la lampada si è bruciata o la luminosità è diminuita, oppure sullo schermo appare il messaggio “Sostituire la lampadina.”, sostituire la lampada con un’altra nuova. Utilizzare una lampada per proiettori LMP-P260 come lampada sostitutiva. La durata della lampada varia secondo le condizioni di impiego.

Attenzione

Dopo aver spento il proiettore con il tasto I/⏻, la temperatura della lampada sarà elevata. **Non toccare la lampada onde evitare di scottarsi le dita. Per sostituire la lampada, attendere almeno un’ora che questa si raffreddi.**

Note

- Se la lampada si rompe, rivolgersi al personale qualificato (customer service center) Sony.
- Estrarre la lampada tenendo la maniglia. Se si tocca la lampada, ci si potrebbe ustionare o ferire.
- Quando si rimuove la lampada, accertarsi che rimanga orizzontale, quindi tirare diritto verso l’alto. Non inclinare la lampada. Se si estrae la lampada mentre è inclinata e se la lampada si rompe, i frammenti possono spargersi, provocando delle lesioni.`

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

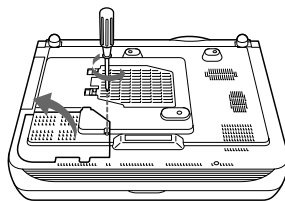
Nota

Per sostituire la lampada dopo che è stato usato il proiettore, attendere almeno un’ora che la lampada si raffreddi.

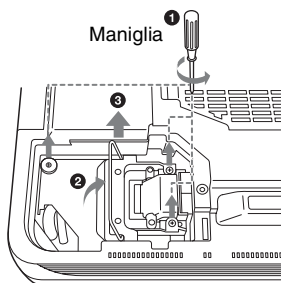
2 Mettere un telo protettivo di stoffa sotto il proiettore. Capovolgere il proiettore in modo che il lato inferiore sia visibile.

Nota

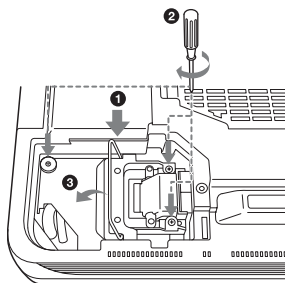
Assicurarsi che il proiettore sia stabile dopo averlo capovolto.

3 Aprire il coperchio della lampada svitando la vite con il cacciavite con punta a croce.

Nota

Per motivi di sicurezza, non allentare nessuna altra vite.

4 Svitare le due viti sull’unità della lampada con il cacciavite con punta a croce. Estrarre l’unità lampada usando la maniglia.

Nota

Le viti sono montate con delle rondelle. Non smontare le viti, ma semplicemente allentarle.

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione. Stringere le due viti. Piegare la maniglia.

Note

- Fare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada.
- Se la lampada non è stata fissata correttamente non sarà possibile accendere l’apparecchio.

6 Chiudere il coprilampada e stringere le viti.

Nota

Non stringere eccessivamente le viti. Diversamente potrebbero guastarsi alcuni dei componenti interni del proiettore.

7 Capovolgere di nuovo il proiettore.

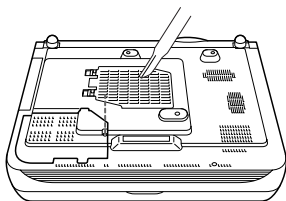
8 Collegare il cavo di alimentazione e accendere il proiettore nel modo di attesa.

9 Premere i seguenti tasti sul pannello di controllo nel seguente ordine per meno di cinque secondi ciascuno: RESET, ⬅, ➡, ENTER.

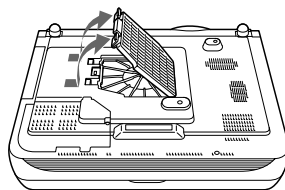
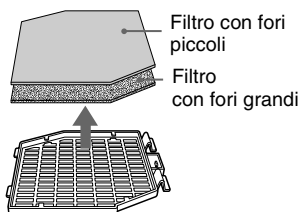
Attenzione

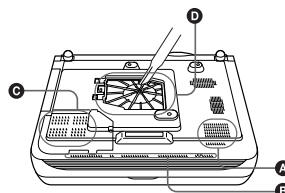
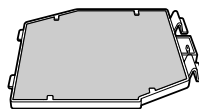
Per evitare il rischio di scosse elettriche o incendi, non inserire le mani nell'alloggiamento della lampada, né farvi cadere alcun liquido o oggetto.

Pulizia del filtro dell'aria

Il filro dell'aria deve essere pulito ogni 1500 ore.
Eliminare la polvere dalla parte esterna delle prese di ventilazione con un aspirapolvere.
1500 ore è un valore approssimativo. Questo valore cambia in funzione dell'ambiente e dell'uso del proiettore.

Quando si incontrano difficoltà per eliminare la polvere dal filtro con un aspirapolvere, rimuovere il filtro dell'aria e lavarlo.

1 Disinserire l'alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Rimuovere il coperchio del filtro dell'aria.

3 Rimuovere il filtro dell'aria.

4 Lavare il filtro dell'aria con una soluzione detergente leggera ed asciugarlo all'ombra.

5 È anche necessario pulire le aperture sul fondo del proiettore (A~D) con un aspirapolvere.

6 Inserire il filtro dell'aria nelle quattro linguette del relativo coperchio, quindi fissare il filtro dell'aria al proiettore.

Note

- Se non si pulisce il filtro dell'aria, la polvere potrebbe accumularsi e intasarlo. Di conseguenza, la temperatura all'interno dell'apparecchio può aumentare dando luogo a possibili problemi di funzionamento o incendi.
- Se non è possibile eliminare la polvere dal filtro dell'aria, sostituire il filtro dell'aria con quello nuovo in dotazione.
- Assicurarsi di fissare saldamente il coperchio del filtro dell'aria; se non è chiuso bene, l'apparecchio non si accende.
- Il filtro dell'aria ha una parte anteriore e una posteriore. Il lato del filtro con i fori più grandi deve essere orientato verso l'esterno.

Risoluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e risolvere il problema usando le seguenti istruzioni. Se il problema persiste, rivolgersi al personale qualificato Sony.
Per ulteriori informazioni sui sintomi, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e soluzione
L'alimentazione non è inserita.	• L'alimentazione è stata disinserita e inserita con il tasto I / ⏻ troppo rapidamente. → Prima di inserire l'alimentazione, attendere almeno 60 secondi. • Il coprilampada è staccato. → Chiudere saldamente il coprilampada. • Il coperchio del filtro dell'aria è staccato. → Chiudere saldamente il coperchio del filtro dell'aria.

Immagine

Sintomo	Causa e soluzione
Non c'è l'immagine.	• Il cavo è scollegato o i collegamenti non sono corretti. → Accertarsi che i collegamenti siano stati effettuati correttamente. • La selezione dell'ingresso non è corretta. → Selezionare correttamente la sorgente di ingresso usando il tasto INPUT. • L'immagine è silenziata. → Per disattivare la funzione di silenziamento, premere il tasto PIC MUTING. • Il segnale del computer non è impostato per l'invio ad un monitor esterno o è impostato per l'invio sia ad un monitor esterno che ad un monitor LCD di un computer. → Impostare il segnale del computer per l'invio solo al monitor esterno. → Secondo il tipo di computer utilizzato, per esempio un notebook o di tipo integrato con LCD, potrebbe essere necessario commutare il segnale video per l'invio al proiettore premendo determinati tasti, o modificando le impostazioni del computer. Per maggiori dettagli, fare riferimento alle istruzioni per l'uso in dotazione con il computer.
L'immagine è disturbata.	• È possibile che l'immagine sia disturbata sullo sfondo secondo la combinazione dei numeri di punti in ingresso dal connettore e dei numeri di pixel sul pannello LCD. → Modificare il modello del desktop sul computer collegato.
Il colore dell'immagine dal connettore INPUT D è anomalo.	• L'impostazione di Sel. segn. in. D nel menu REGOLAZIONE è errata. → Selezionare Computer, Video GBR o Componenti per Sel. segn. in. D nel menu REGOLAZIONE in funzione del segnale di ingresso.

Sintomo	Causa e soluzione
L'immagine non è nitida.	• L'immagine non è a fuoco. → Regolare la messa a fuoco. • Sull'obiettivo si è creata della condensa. → Lasciare acceso il proiettore per circa due ore.
L'immagine si estende oltre lo schermo.	• Il tasto APA è stato premuto anche se ci sono dei bordi neri intorno all'immagine. → Visualizzare l'immagine intera sullo schermo e premere il tasto APA. → Regolare correttamente Spostamento nel menu REGOLAZIONE INGRESSO.
L'immagine presenta un fenomeno di sfarfallio.	• Non è stato regolato correttamente Fase punto nel menu REGOLAZIONE INGRESSO. → Regolare correttamente Fase punto nel menu REGOLAZIONE INGRESSO.

Indicatori

POWER SAVING	Si illumina quando il proiettore è nel modo di attesa.
TEMP/FAN	Si illumina quando la temperatura all'interno del proiettore diventa insolitamente eccessiva. Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite.
	Lampeggia quando la ventola è guasta. Rivolgersi al personale qualificato Sony.
LAMP/COVER	Si illumina quando la lampada ha raggiunto la fine della sua durata o si riscalda eccessivamente. Attendere 90 secondi per lasciare raffreddare la lampada, quindi inserire di nuovo l'alimentazione o sostituire la lampada. Il sistema elettrico è guasto. Rivolgersi al personale qualificato Sony.
	Lampeggia quando il coperchio della lampada non è bloccato correttamente. Applicare saldamente il coprilampada.
Indicatore I /⏻	Si illumina in rosso quando il cavo di alimentazione c.a. viene inserito nella presa a muro. Una volta nel modo di attesa, è possibile accendere il proiettore con il tasto I/⏻.
	Si illumina in verde quando viene inserita l'alimentazione.
	Lampeggia in verde quando la ventola di raffreddamento gira dopo il disinserimento dell'alimentazione con il tasto I /⏻. Durante questo periodo di tempo, non è possibile accendere il proiettore.

Dati tecnici

Sistema di proiezione
Sistema di proiezione a 3 pannelli LCD con 1 obiettivo
Pannello LCD
TFT SONY da 0,99 pollici a matrice di lenti miniaturizzate, 2.359.296 pixel (1.024 × 768 pixel × 3)
Obiettivo obiettivo con ingrandimento 1,3 (Manuale)
Lampada Lampada ad altissima pressione di 265 W
Dimensioni dell'immagine proiettata
Gamma: da 40 a 300 pollici (misurati diagonalmente)
Flusso luminoso
ANSI lumen[1] 3.500 lm

1) ANSI lumen è un metodo di misurazione dell'American National Standard IT 7.228.

Distanza di proiezione (installazione sul pavimento)
40 pollici: da 1,5 a 1,9 m
60 pollici: da 2,3 a 2,9 m
80 pollici: da 3,0 a 3,8 m
100 pollici: da 3,8 a 4,8 m
150 pollici: da 5,8 a 7,2 m
200 pollici: da 7,7 a 9,7 m
300 pollici: da 11,6 a 14,5 m
Sistema colore Sistema NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N, inserito automaticamente/manualmente
Segnali da computer accettabili[2]
fH: da 19 a 92 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(Risoluzione massima del segnale in ingresso: UXGA 1.600 × 1.200 fH: 75 kHz, fV: 60 Hz)

2) Impostare la risoluzione e la frequenza del segnale del computer collegato entro la gamma di segnali preimpostati accettabili del proiettore.

Segnale video compatibile
15k RGB 50/60 Hz,
Componente progressiva 50/60 Hz, DTV (480/60I, 575/50I, 1.080/60I, 480/60P, 575/50P, 1.080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P), video composito, video Y/C
Dimensioni 420 × 125 × 316 mm (l/a/p) (senza le parti sporgenti)
Peso Circa 7,8 kg
Alimentazione
CA da 100 a 240 V, 3,65 A–1,52 A, 50/60 Hz
Consumo energetico
Max. 365 W
in modo di attesa: 6W
Accessori in dotazione
Telecomando (1)
Batterie formato AA (R6) (2)
Cavo HD D-sub a 15 pin (2,0 m) (1)
(1-791-992-31)
Cavo USB di tipo A - tipo B (1)
(1-790-081-31)
Copriobiettivo (1)
Cavo di alimentazione CA (1)
Filtro dell'aria (ricambio)
Istruzioni per l'uso, manuale d'installazione per i rivenditori (CD-ROM) (1)
Guida rapida all'uso
Normative di sicurezza (1)
Etichetta di sicurezza (1)
Scheda di garanzia (1)

Modello e dati tecnici soggetti a modifiche senza preavviso.

Accessori opzionali

Lampada per proiettori
LMP-P260 (ricambio)
Supporto di sospensione per proiettori
PSS-610
Cavo per monitor
SMF400 (HD D-sub a 15 pin (maschio) ←→ 5 × BNC (maschio))
Obiettivo per proiezione
Obiettivo zoom con messa a fuoco lunga
VPLL-ZM102
Obiettivo con messa a fuoco corta
VPLL-ZM32
Obiettivo con messa a fuoco corta e fissa
VPLL-FM22

关于快速参考手册

本快速参考手册讲述了本装置的连接和基本操作，并提供了有关操作的注意事项和维护所需要的信息。

有关操作的详细说明，请参阅随机提供 CD-ROM 中所含的使用说明书。

有关安全预防措施，请参阅单独的“安全规则”。

使用 CD-ROM 电子手册

随机提供的 CD-ROM 含有日文版、英文版、法文版、德文版、意大利文版、西班牙文版和中文版的使用说明书、自述文件和安装手册。请先查阅自述文件。

准备工作

要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，则需要 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更新版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，您可以从 Adobe Systems 的 URL 下载免费 Acrobat Reader 软件。

阅读使用说明书

使用说明书包含在随机提供的 CD-ROM 中。将随机提供的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，过一会儿 CD-ROM 将自动播放。选择您想阅读的操作说明书。

视电脑的情况而定，CD-ROM 也可能未自动播放。在此情况下，请采用以下方法打开使用说明书:

（Windows 系统）

① 打开“我的电脑”。

② 在 CD-ROM 图标上单击鼠标右键，并选择“打开”。

③ 双击“index.htm”文件，选择您想阅读的操作说明书。

（Macintosh 系统）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击“index.htm”文件，选择您想阅读的操作说明书。

注

如果您无法打开“index.htm”文件，双击“Operating_Instructions”文件夹中您想阅读的操作说明书。

关于商标

- Windows 是 Microsoft Corporation 在美国和（或）其他国家的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美国和（或）其他国家的注册商标。
- Adobe 和 Acrobat Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和（或）其他国家的注册商标。

目录

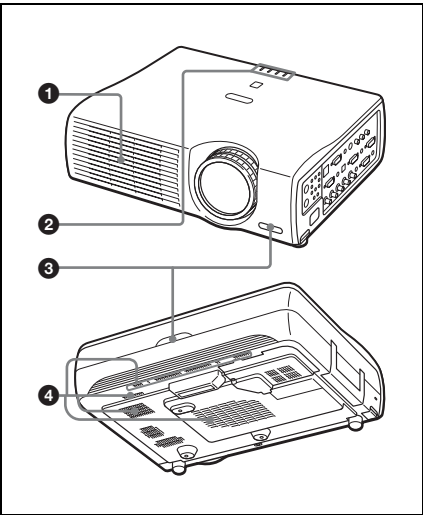
CS

使用注意事项

通风孔注意事项

切勿堵塞通风孔 （排气和进气）。如果通风孔堵塞，则内部热量将积聚并可能引起火灾和损坏装置。

请检查下图所示的通风孔位置。

有关其它预防措施，请仔细参阅单独的 “安全规则”。

❶ 通风孔 （排气）

❷ 指示灯

❸ 遥控检测器

❹ 通风孔 （进气）

电源线注意事项

请使用适合当地电源的电源线。

	美国、加拿大		欧共体		英国、爱尔兰、澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
连接器类型	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
电线类型	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
额定电压 / 电流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全合格标准	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
电线长度 （最大限度）	4.5 m		—			

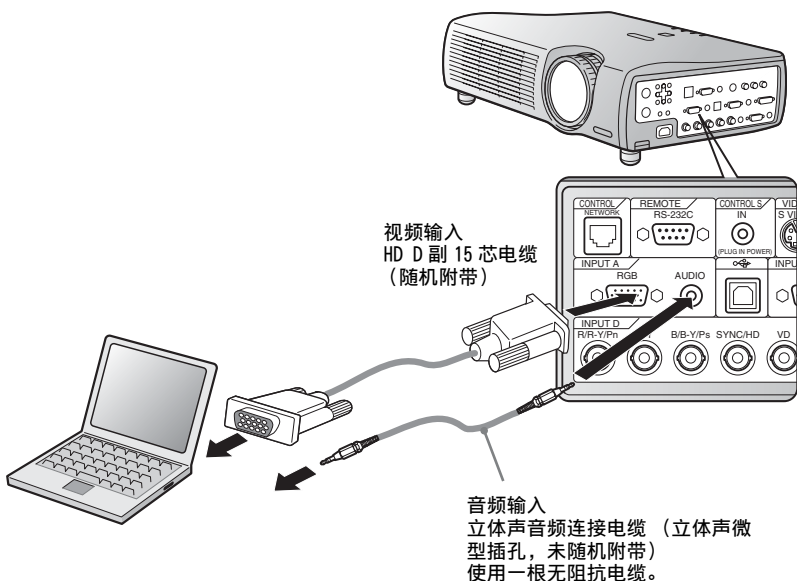
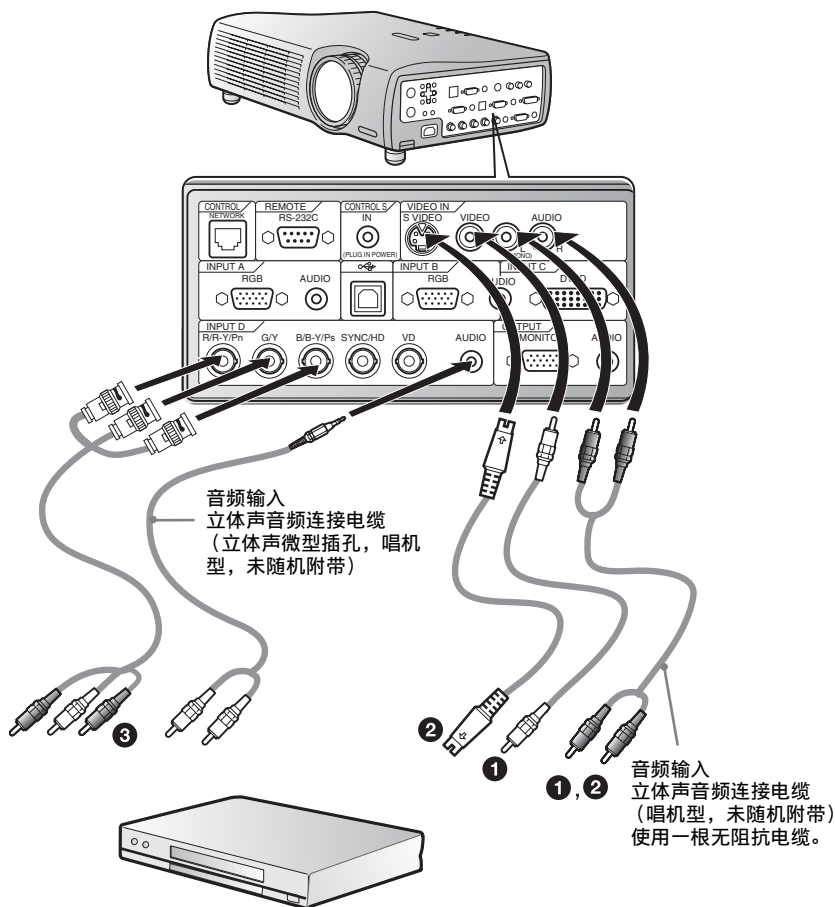
1） 请使用符合当地规格的标准插头。

投影

连接投影机

在连接投影机时，请确保：

- 连接前先关闭所有设备。
- 用合适的电缆连接。
- 牢固插入电缆的插头。在拔掉电缆时，必须拔插头，不能拉扯电缆。

同时请参阅所连接装置的使用说明书。

连接录像机 /DVD 播放机

对于视频信号连接，可以使用以下三种连接选择：

❶ 复合视频 （音频插头）电缆 （未随机附带）

❷ S 视频 （微型 DIN 4 芯）电缆 （未随机附带）

❸ 分量视频 （3 × BNC）电缆 （未随机附带）（使用无阻抗电缆）

如果采用第 ❸ 种连接方式，请在操作设定菜单中选择 “输入 D 信号选择”输入信号。详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

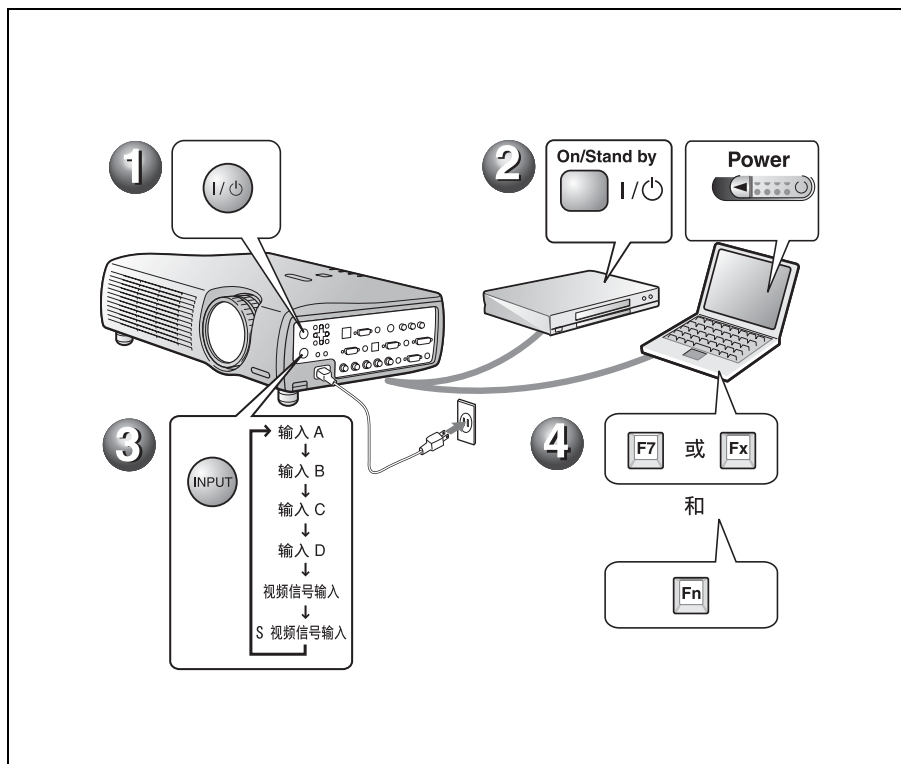
投影

将交流电源线插入墙上的电源插座，然后连接装置。

❶ 按 I/⏻（接通 / 待机）键。

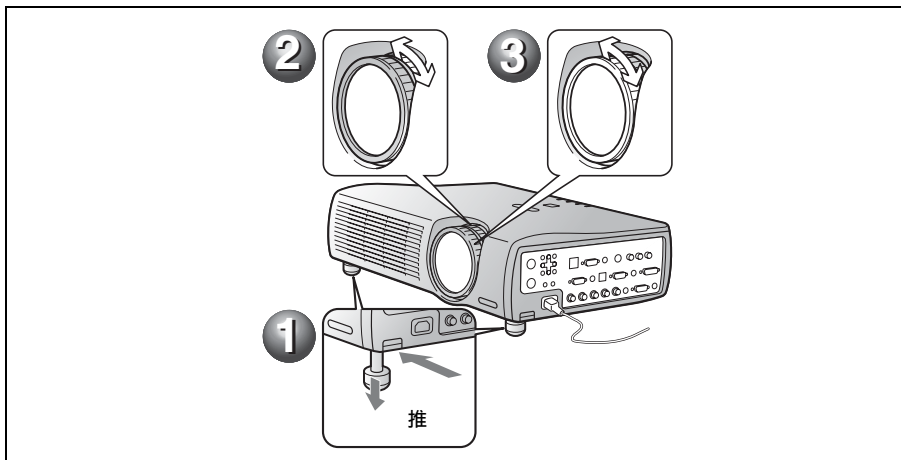
❷ 接通连接到投影机装置的电源。

❸ 按 INPUT 键选择输入源。

❹ 当连接了电脑，请将其设定为仅向外接监视器输出信号。

调节投影机

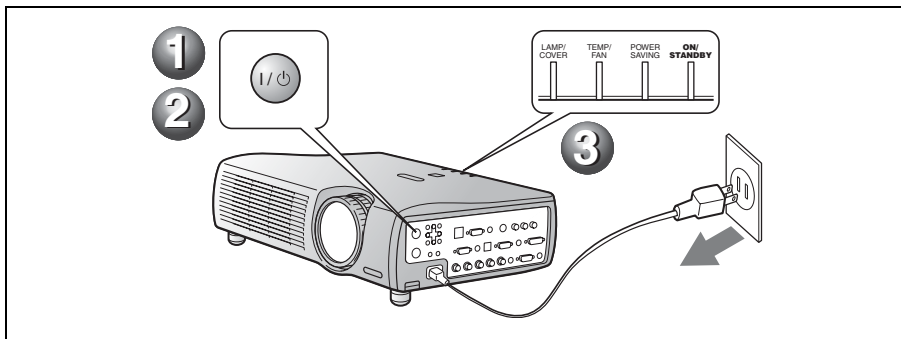
❶ 抬起投影机并按调节器调整键。

❷ 调整图像的尺寸。

❸ 调整焦距。
本投影机配备了图像设定菜单，可选择图像模式，输入设定菜单可选择合适的图像纵横比。详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

关闭电源

❶ 按 I/⏻（接通 / 待机）键。

❷ 当出现一信息时，请再次按 I/⏻ （接通 / 待机）键。

❸ 在风扇停止运转，并且 ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色后，将交流电源线插头从墙上插座拔出。

更换投影灯

当投影灯泡已经损坏或变暗，或屏幕上出现“请更换灯泡。”的信息时，请换上新的投影灯泡。请用新的 LMP-P260 投影灯泡进行更换。投影灯泡的使用寿命依使用状况而异。

小心

用 I / ⏻ 键关闭投影机电源之后投影灯泡还会很烫。**如果此时触摸灯泡，会烫伤手指。更换投影灯泡时，请至少等 1 小时待灯泡冷却。**

注

- 如果投影灯泡损坏，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 抓住把手将投影灯泡拉出。如果此时触摸灯泡，可能会被烫伤。
- 在取下灯泡时，请务必使之保持水平，然后直着拉出。不要倾斜投影灯泡。如果在倾斜时和灯泡损坏时拉出灯泡，碎片可能散落并导致伤害。

1 关闭投影机电源，并从交流电源插座拔下交流电源线。

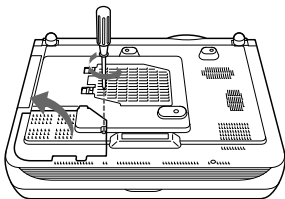
注

如果要在使用投影机后更换投影灯泡，请至少等 1 小时待灯泡冷却。

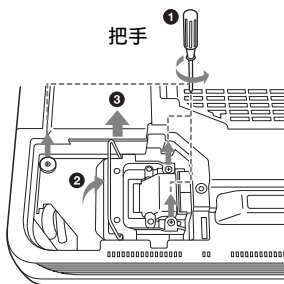
2 将保护纸（布）垫在投影机下。将投影仪翻转以便能看到底面。

注

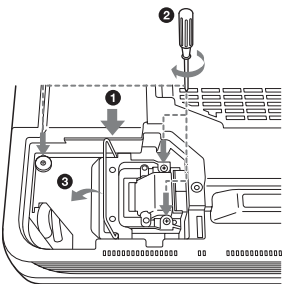
翻转投影机之后，务必使之平稳。

3 用 Phillips 十字螺丝刀拧松螺丝，打开投影灯盖板。

注

为安全起见，请勿拧松任何其他螺丝。

4 用Phillips十字螺丝刀拧松投影灯泡上的三个螺丝。抓住把手将投影灯泡装置拉出。

注

螺丝有垫圈。请勿拧下螺丝，只要拧松即可。

5 将新的投影灯插到头直至固定到位为止。拧紧螺丝。折回把手。

注

- 小心不要碰到投影灯的玻璃面。
- 如果投影灯泡未装好，将无法接通电源。

6 关上投影灯盖板，拧紧螺丝。

注

请勿将螺丝拧得太紧。这样做会损坏投影机的某些内部元件。

7 将投影仪翻转过来。

8 连接电源线并使投影机进入待机状态。

9 以下列顺序按控制面板上的下列键，按每个键的时间不要超过 5 秒钟：RESET、⬅、➡、ENTER。

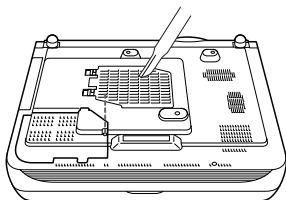
小心

请勿将手指放入投影灯更换处，也不要让任何液体或物体落入**以免发生触电或火灾。**

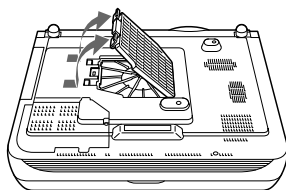
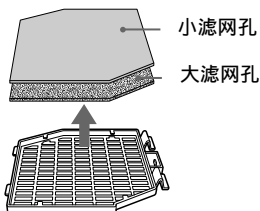
清洁空气滤网

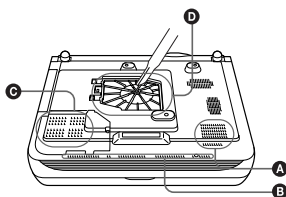
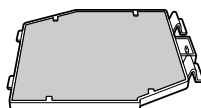
空气滤网应每过 1500 小时即清洁一次。

请用真空吸尘器从通风孔外面清除灰尘。

1500 小时是大概的时间。其时间根据使用环境或投影机的使用方法而各异。

当滤网上的积尘变得难以用真空吸尘器除去时，请取下空气滤网进行清洗。

1 关闭电源并拔出电源线插头。

2 拆下空气滤网盖板。

3 卸下空气滤网。

4 用中性清洁剂溶液清洗空气滤网并在阴凉处凉干。

5 还应该使用吸尘器清扫投影机底面的开口（Ⓐ~Ⓓ）。

6 将空气滤网插入空气滤网盖板的 4 个槽口上，然后将空气滤网盖板装到投影机上。

注

- 如果忽视清洁空气滤网，将会导致灰尘集聚。从而内部聚热，以致引发机器的故障或火灾。
- 如果积尘无法从空气滤网去除，请用随机附带的新空气滤网更换。
- 请务必牢固安装空气滤网盖板，若闭合不牢，则无法接通电源。
- 空气滤网有正面和反面。滤网有较大的滤网孔的一面应向外。

故障排除

如果投影机工作失常，请参照下列指示进行检查并解决问题。如果问题得不到解决，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。

关于症状的详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
电源接不通。	• 在很短的时间间隔内用 I/⏻ 键关闭和接通电源。 ➔ 接通电源之前请等候约 60 秒钟。 • 投影灯盖板脱落。 ➔ 关严投影灯盖板。 • 空气滤网盖板脱落。 ➔ 关严空气滤网盖板。

图像

症状	原因和对策
无图像。	• 电缆脱落或接线错误。 ➔ 检查接线是否正确。 • 输入选择不正确。 ➔ 使用 INPUT 键正确选择输入源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键以解除图像减弱。 • 电脑的信号未被设定为向外接显示器输出或电脑的信号被同时设定为向电脑的外接显示器和液晶显示屏输出。 ➔ 将电脑的信号设定为仅向外接显示器输出。 ➔ 根据电脑类型，例如笔记本型或全屏液晶显示型，您可能必须通过按特定键或改变电脑的设定切换电脑使之输出到投影机上。 有关细节，请参阅随电脑附带的使用说明书。
图像有杂纹。	• 根据从连接器输入的点数与液晶显示面板的像素数的组合情况，背景上可能出现杂纹。 ➔ 改变所连接电脑的桌面图案。
来自 INPUT D 连接器的图像色彩异常。	• 操作设定菜单中输入 D 信号选择项目的设定不正确。 ➔ 根据输入信号对操作设定菜单中输入 D 信号选择选择电脑、视频信号输入 GBR 或分量信号。
图像不清晰。	• 图像焦点未对准。 ➔ 调整焦距。 • 透镜上有结露。 ➔ 接通投影机电源并放置约两小时。
图像超出屏幕。	• 在图像四周有黑边，但按了 APA 键。 ➔ 在屏幕上显示完整的图像，然后按 APA 键。 ➔ 调整好输入设定菜单中的移位项目。
图像闪烁。	• 输入设定菜单中的点相位项目未调整好。 ➔ 调整好输入设定菜单中的点相位项目。

指示灯

POWER SAVING（节电）	在投影机处于节电状态时点亮。
TEMP/FAN	投影机内部温度变得异常高时点亮。检查是否有物体堵塞住通风孔。
	风扇损坏时闪烁。请向 Sony 公司专业人员咨询。
LAMP/COVER	投影灯已无法再使用或高温时点亮。等待 90 秒钟使投影灯泡冷却，然后重新打开电源，或更换灯泡。 电气系统有故障。请向 Sony 公司专业人员咨询。
	当投影灯盖板没有装严时闪烁。装严盖板。
I/⏻ 指示灯	在交流电源线插头插入墙上电源插座时点亮呈红色。一旦进入待机状态，即可按 I/⏻ 键接通投影机电源。
	在电源接通时点亮呈绿色。
	按 I/⏻ 键关闭电源后，冷却扇转动时闪烁呈绿色。在此期间，您将无法打开投影机。

规格

投影系统　3块液晶显示板、1个透镜、投影系统
液晶显示板　0.99-英寸TFT SONY液晶显示板，含微型透镜矩阵，2,359,296像素 （1,024 × 768像素× 3）
透镜　1.3倍变焦透镜 （手动）
投影灯　265 W超高压投影灯泡
投影图像尺寸
　范围：40至300英寸 （对角线测量）
光输出　ANSI流明[1]3,500 lm

1)ANSI 流明是美国国家标准 IT 7.228 定义的一种测量方法。
（该亮度值为工厂出厂时的典型值；亮度设定为100%时）

投影距离 （落地安装）
　40英寸：1.5至1.9 m
　60英寸：2.3至2.9 m
　80英寸：3.0至3.8 m
　100英寸：3.8至4.8 m
　150英寸：5.8至7.2 m
　200英寸：7.7至9.7 m
　300英寸：11.6至14.5 m
彩色制式　NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N制式，自动/手动切换
可接收的电脑信号[2]
　fH:19 至92 kHz
　fV:48 至92 Hz
　（最大输入信号分辨率: UXGA 1,600 × 1,200 fH: 75 kHz, fV: 60 Hz）

2）在投影机可接收预设信号的范围内，设定所连接电脑的信号的分辨率和频率。

兼容视频信号
　15k RGB 50/60Hz，
　逐级分量 50/60 Hz，DTV（480/60I，575/50I，1,080/60I，480/60P，575/50P，1,080/50I，720/60P，720/50P，540/60P），复合视频，Y/C视频

尺寸　420 × 125 × 316 mm（宽／高／深）（不包含凸出部分）
重量　约7.8 kg
电源　交流100至240 V，3.65A-1.52A，50/60 Hz
功耗　最大365 W
　待机状态： 6W
随机附件　遥控器 （1）
　AA尺寸 （R6）电池 （2）
　HD D副15芯电缆 （2.0 m）（1）
　（1-791-992-31）
　USB电缆A型-B型 （1）
　（1-790-081-31）
　透镜盖 （1）
　交流电源线 （1）
　空气滤网 （更换用）
　使用说明书，经销商用安装说明书（CD-ROM）（1）
　快速参考手册 （1）
　安全规则 （1）
　安全标签 （1）
　保修卡 （1）

设计和规格如有变更，恕不另行通知。

选购附件

投影灯泡　LMP-P260 （更换用）
投影仪悬挂支架
　PSS-610
显示器电缆
　SMF400 （HD D副15芯 （雄）⟷ 5 × BNC （雄））
投影透镜
　长焦距变焦透镜
　VPLL-ZM102
　短焦距变焦透镜
　VPLL-ZM32
　固定短焦距透镜
　VPLL-FM22